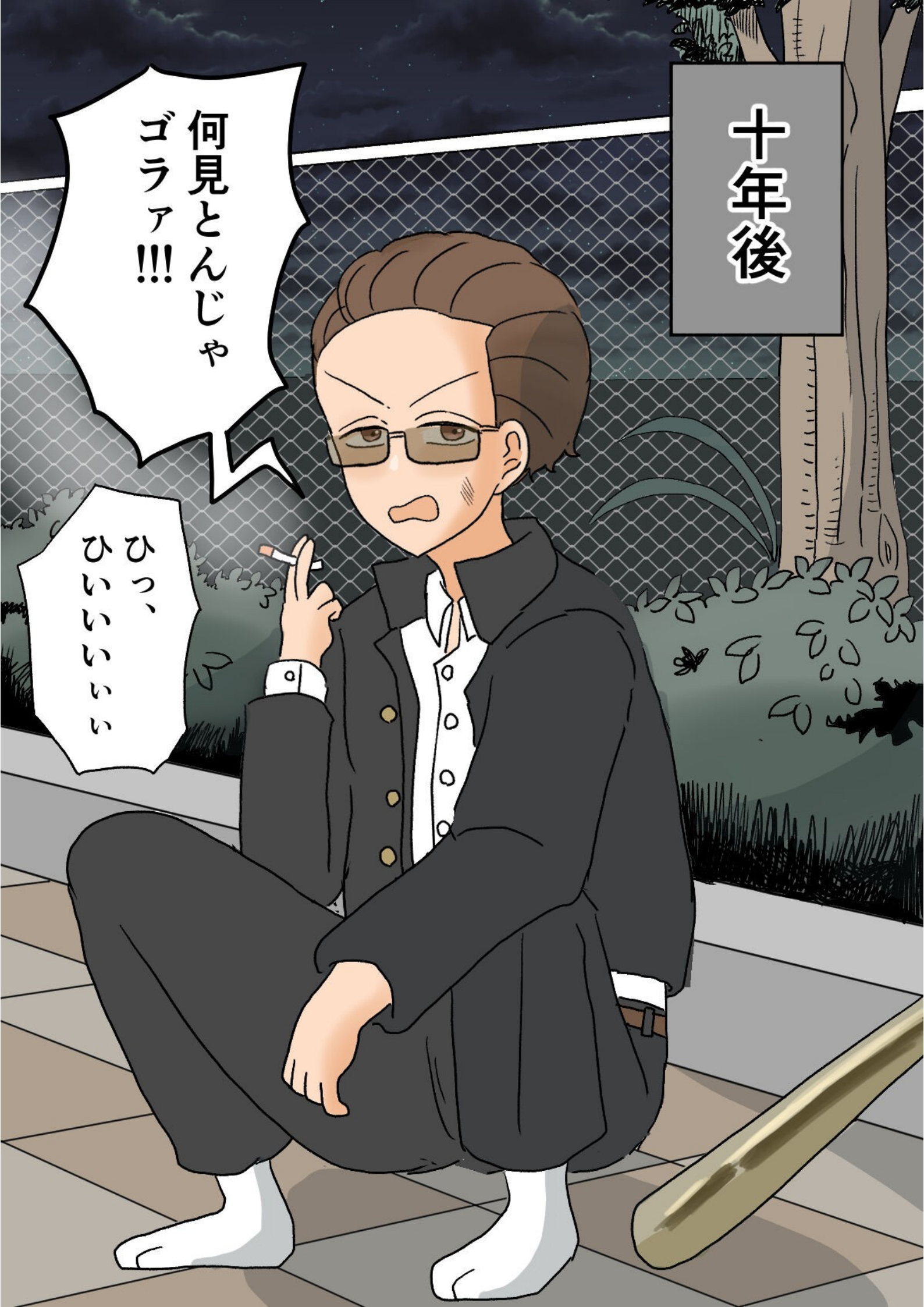
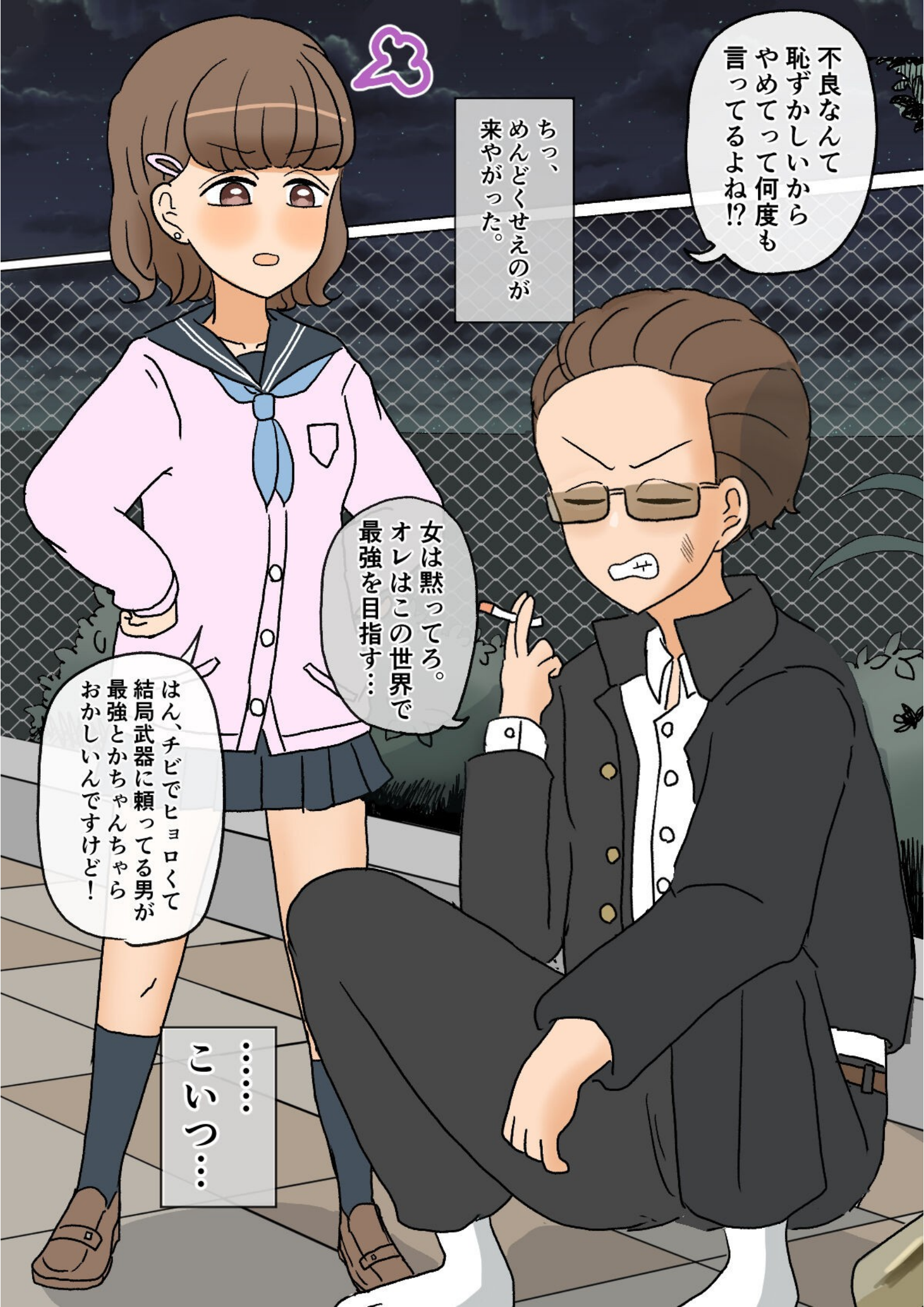
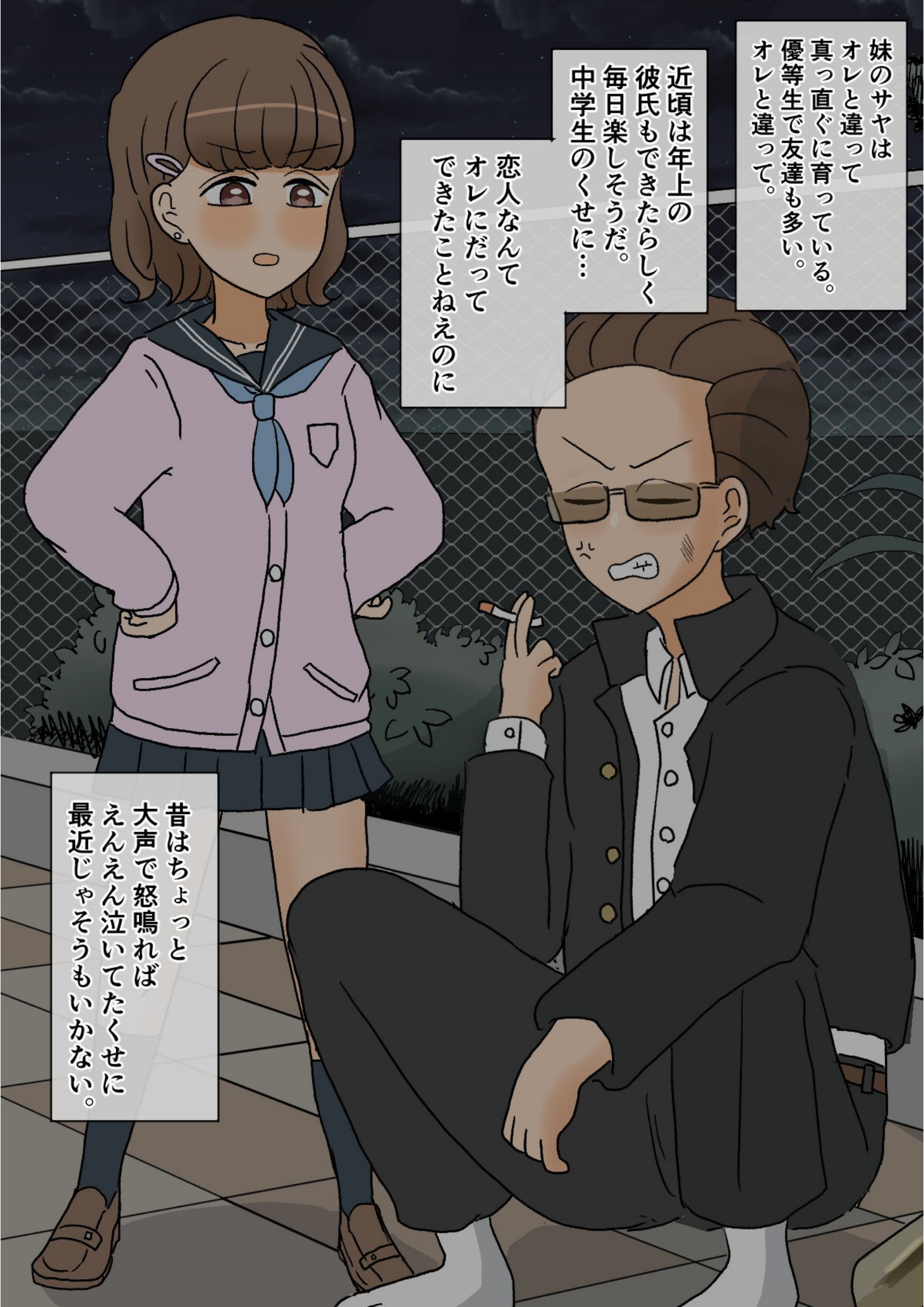
2000年、とあるフォトスタジオにて
えへへ♡
パシャ
はーい妹さん
いい笑顔だよ～！
お兄ちゃんも
笑って笑って！
パシャ
ムスウ
パシャ
……

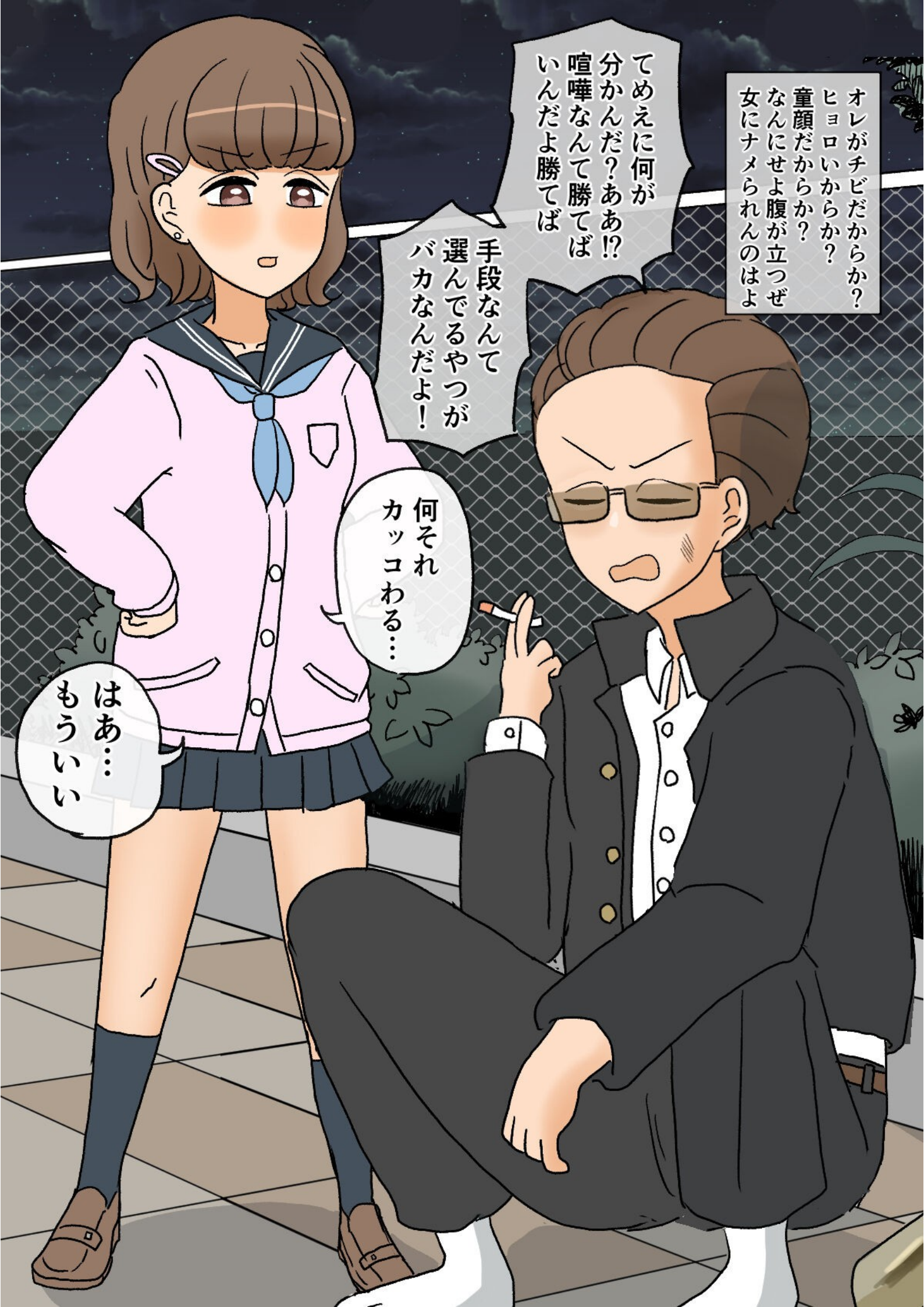
この日は七五三で、
オレはお袋に連れられて
妹と一緒に記念写真を
撮りに行ったんだ
この時、好きなドレスを着て
楽しそうな妹とは裏腹に
オレは憂鬱で仕方がなかった
何てことはない
幼少時の記憶なんだけど
なぜか鮮明に覚えている

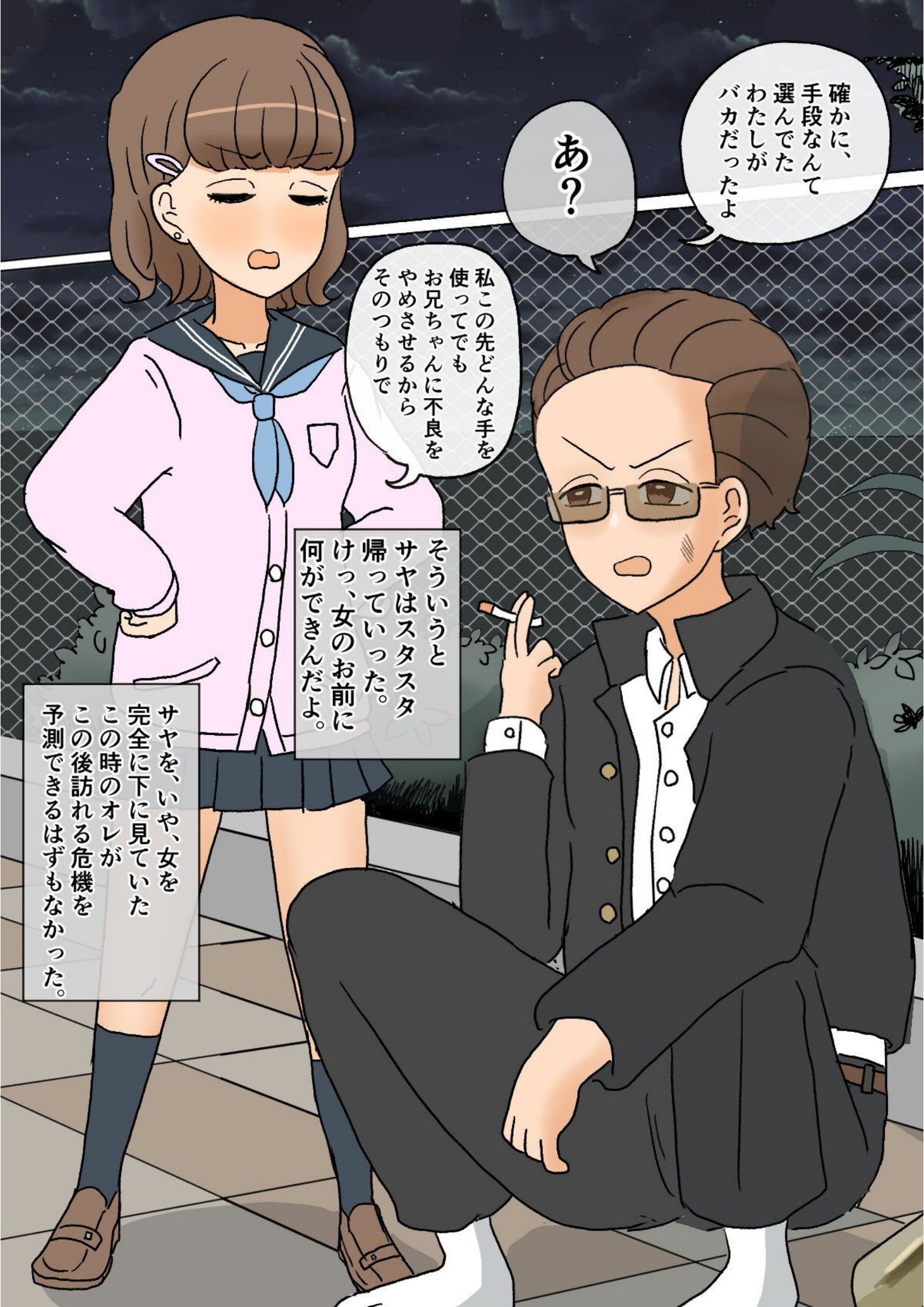

十年後
何見とんじゃゴラァ!!!
ひっ、ひいいいいぃぃ

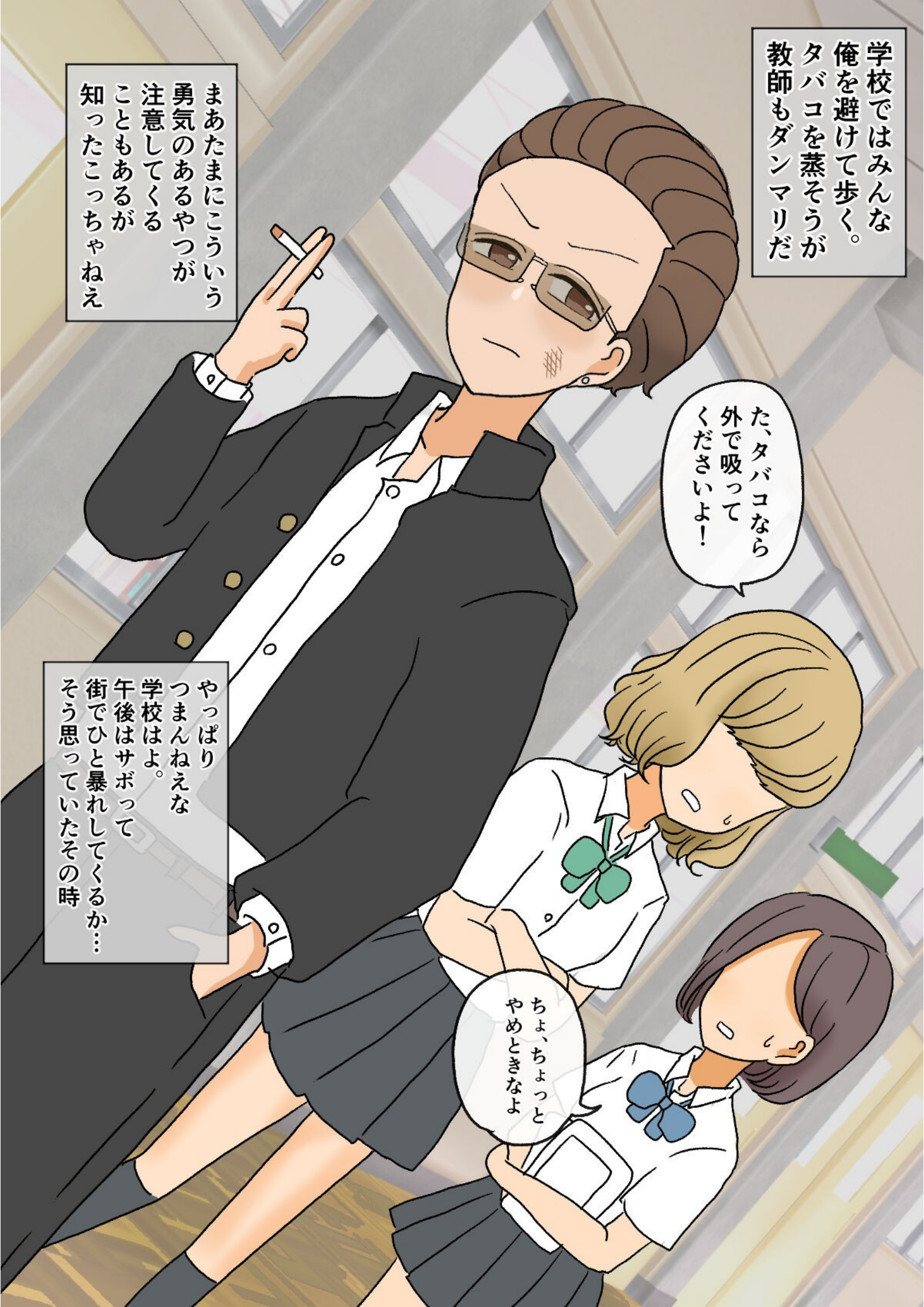
グラサンに
金属バット…
に、逃げろ！
日下部一真(かずま)だ!!
けっ、
根性なしどもが…
弱え奴らほど
よく群れやがる
17歳になった俺は
地元では有名な一匹狼の
不良になっていた。
ここらで日下部カズマと聞けば
誰もが震え上がる。
ちょっと
お兄ちゃん!!
？

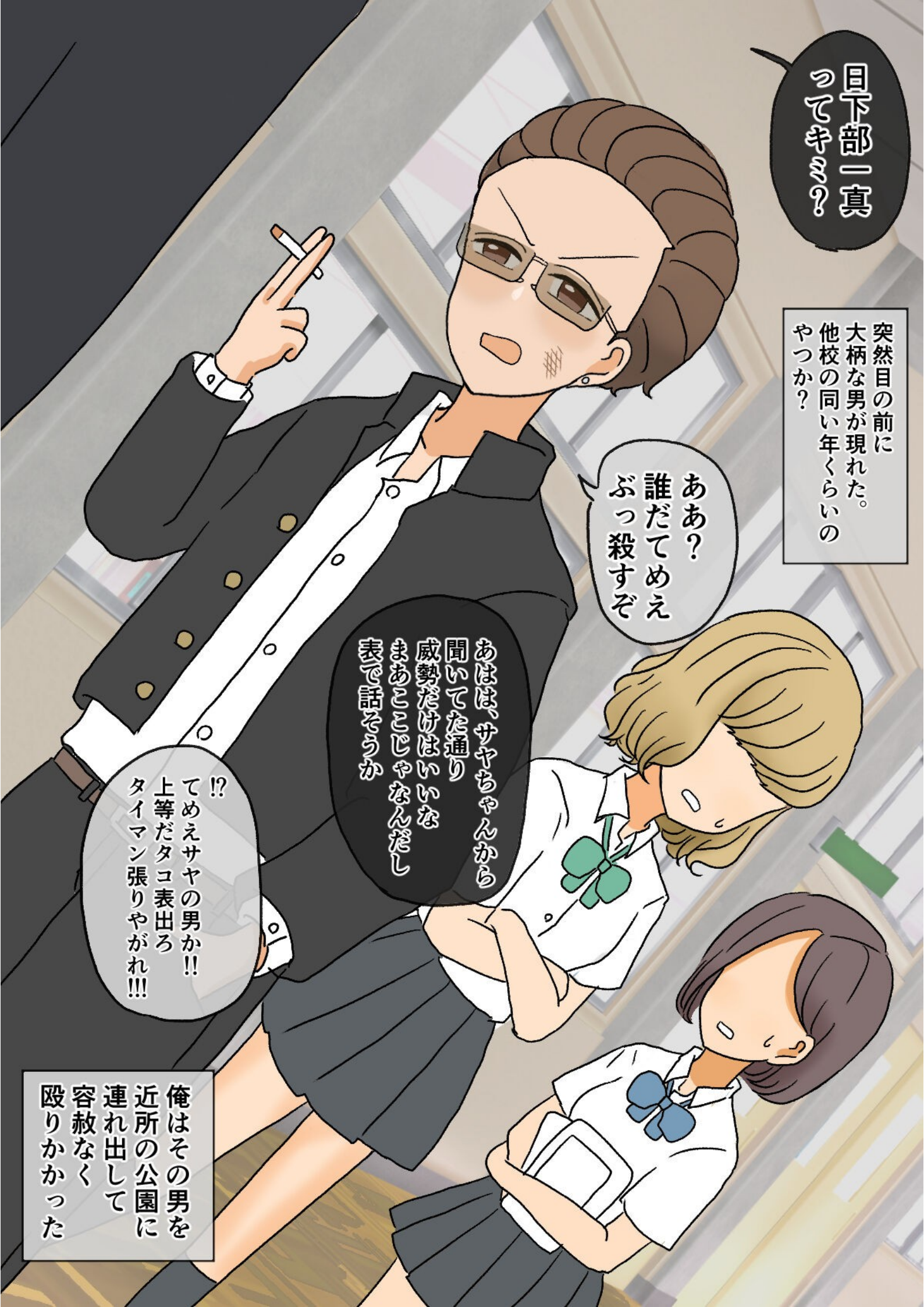

不良なんて恥ずかしいからやめてって何度も言ってるよね!?
ちっ、めんどくせえのが来やがった。
女は黙ってろ。オレはこの世界で最強を目指す…
はん、チビでヒョロくて結局武器に頼ってる男が最強とかちゃんちゃらおかしいんですけど！
……こいつ…


妹のサヤは
オレと違って
真っ直ぐに育っている。
優等生で友達も多い。
オレと違って。
近頃は年上の
彼氏もできたらしく
毎日楽しそうだ。
中学生のくせに…
恋人なんて
オレにだって
できたことねえのに
昔はちょっと
大声で怒鳴れば
えんえん泣いてたくせに
最近じゃそうもいかない。


オレがチビだからか？
ヒョロいからか？
童顔だからか？
なんにせよ腹が立つぜ
女にナメられんのはよ
てめえに何が分かんだ？ああ!?喧嘩なんて勝てばいいんだよ勝てば
手段なんて選んでるやつがバカなんだよ！
何それカッコわる…
はあ…もういい


確かに、手段なんて選んでたわたしがバカだったよ
あ？
私この先どんな手を使ってでもお兄ちゃんに不良をやめさせるからそのつもりで
そういうとサヤはスタスタ帰っていった。
けっ、女のお前に何ができんだよ。
サヤを、いや、女を完全に下に見ていたこの時のオレがこの後訪れる危機を予測できるはずもなかった。


学校ではみんな
俺を避けて歩く。
タバコを蒸そうが
教師もダンマリだ
まあたまにこういう
勇気のあるやつが
注意してくる
こともあるが
知ったこっちゃねえ
た、タバコなら
外で吸って
くださいよ！
やっぱり
つまんねえな
学校はよ。
午後はサボって
街でひと暴れしてくるか…
そう思っていたその時
ちょ、ちょっと
やめときなよ


日下部一真ってキミ？
突然目の前に大柄な男が現れた。他校の同い年くらいのやつか？
ああ？誰だてめえぶっ殺すぞ
あはは、サヤちゃんから聞いてた通り威勢だけはいいなまあここじゃなんだし表で話そうか
!?てめえサヤの男か!!上等だタコ表出ろタイマン張りやがれ!!!
俺はその男を近所の公園に連れ出して容赦なく殴りかかった

そっから先は…
一言で言えば
惨敗だった。
オレがやってたのは
どうやら喧嘩ごっこ
だったらしいということを
理解させられながら
ドサッ
俺は気を
失った

あ♡
んん♡

ここは…
俺あいつに
負けてそのあと…

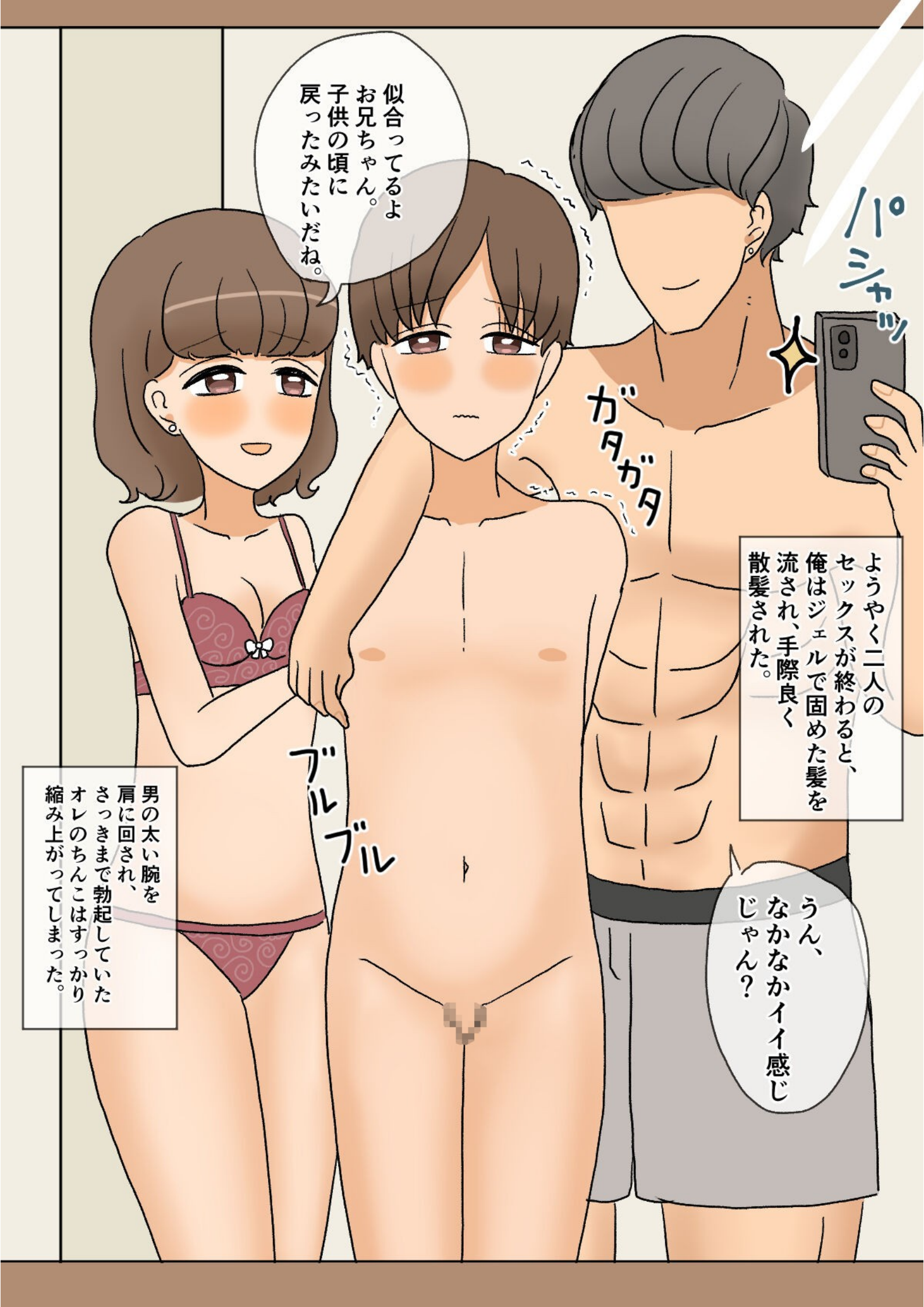
んん…

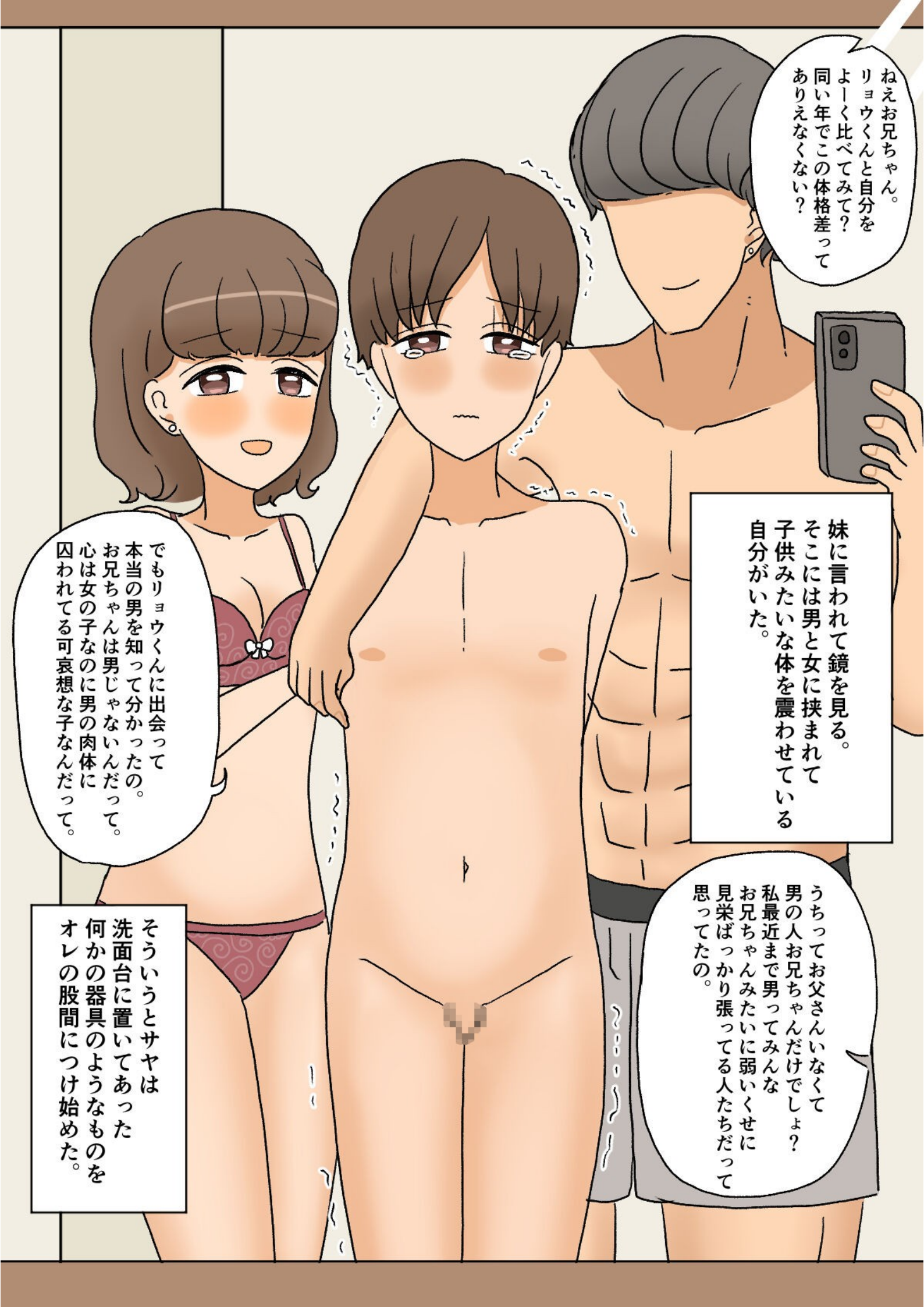
おっ♡
おおん♡

…だれの
声だ？
俺は恐る恐る
目を開けた

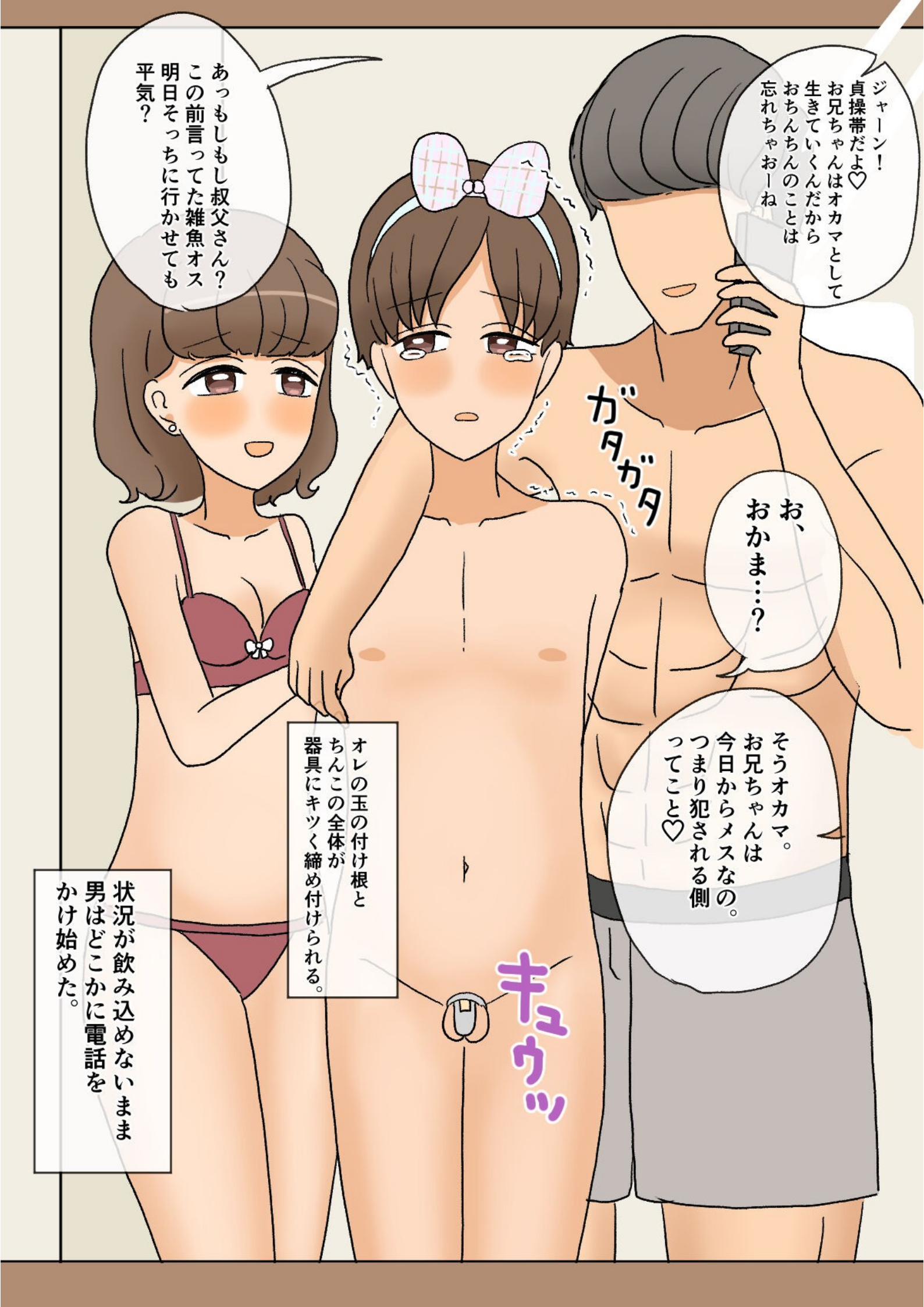
!!!
お、お兄ちゃん
起きたみたいだよ
サヤちゃん
おん♡
この体位♡
しゅきい♡
おっおっ♡
ユサ
ユサ
パン♡
パン♡
ははっ
聞こえてないか。
悪いけど終わるまで
待っててな

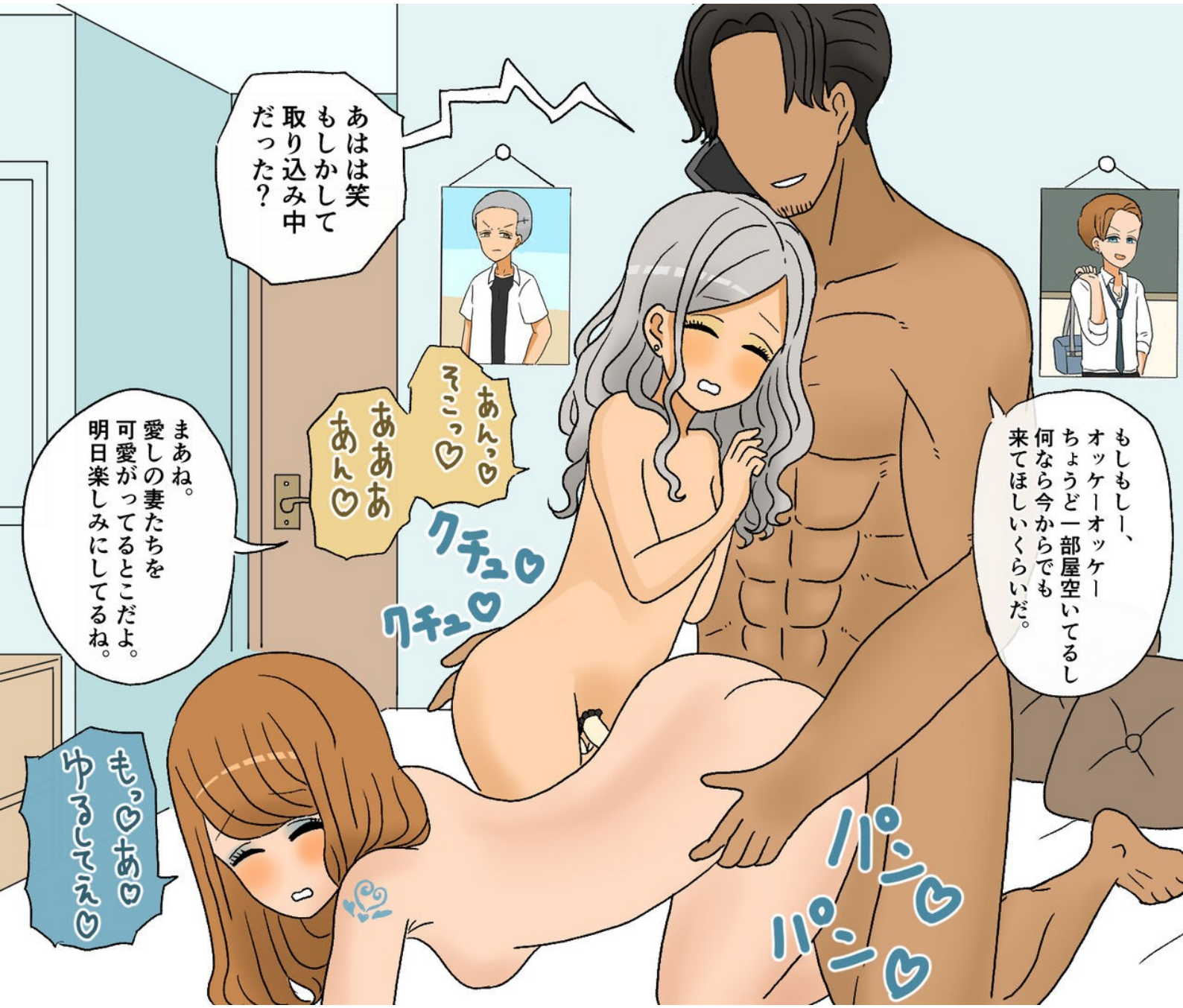
目の前で妹がメスになってオスに媚びている
それに見ていると
これが性欲の押し付けではなく
愛のあるセックスだというのが
嫌というほど伝わってくる。
オレの前で二人は
何度も唇を重ね
妹は何度も
甘い嬌声を上げていた
なんというか…
幸せそうだ…
気づけば童貞のオレは
そのAVのような光景に
欲情して勃起して
しまっていた。

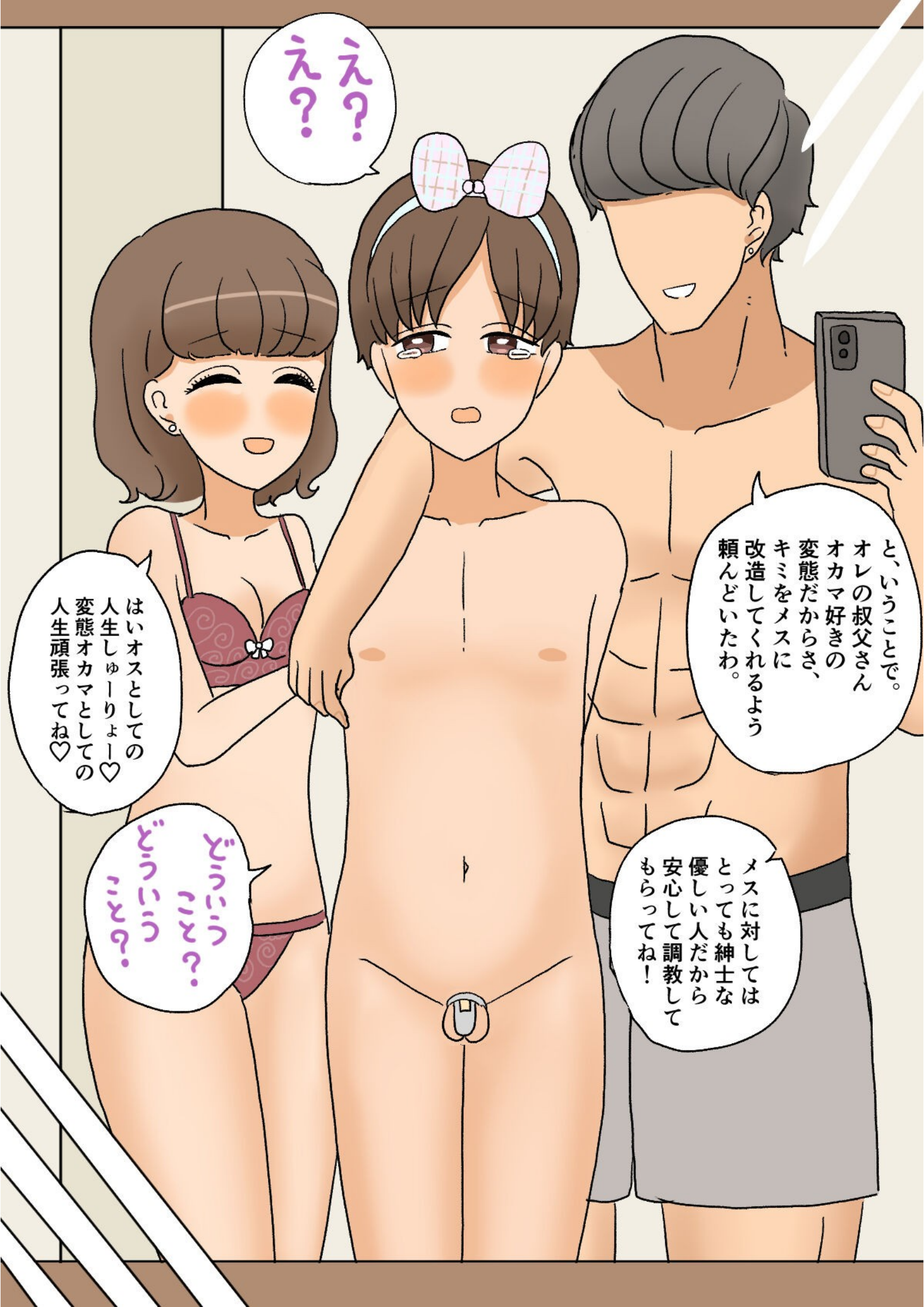

似合ってるよ
お兄ちゃん。
子供の頃に
戻ったみたいだね。
パシャッ
ガタガタ
ブルブル
ようやく二人の
セックスが終わると、
俺はジェルで固めた髪を
流され、手際良く
散髪された。
うん、
なかなかイイ感じ
じゃん？
男の太い腕を
肩に回され、
さっきまで勃起していた
オレのちんこはすっかり
縮み上がってしまった。

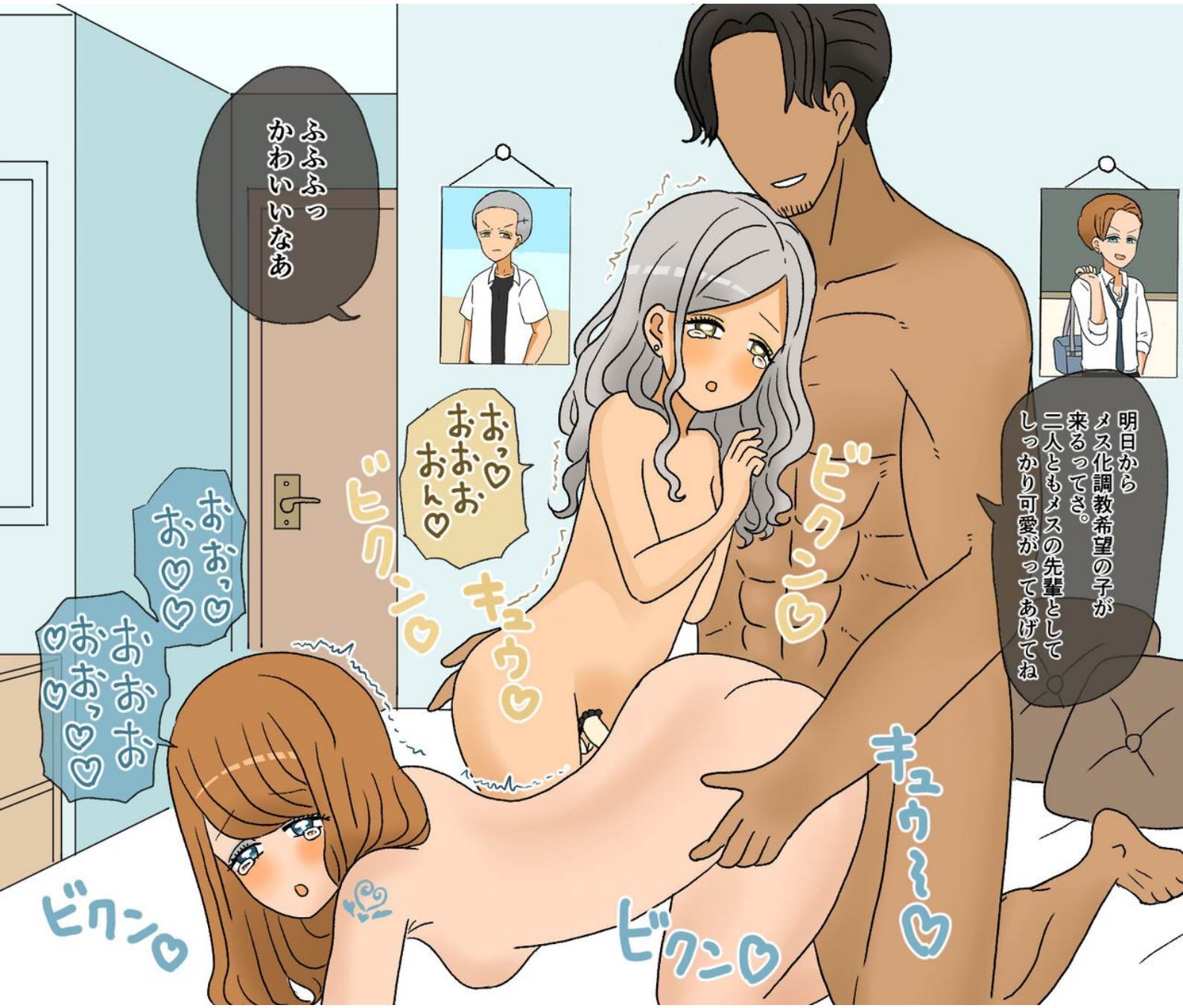

ねえお兄ちゃん。
リョウくんと自分を
よーく比べてみて？
同い年でこの体格差って
ありえなくない？
妹に言われて鏡を見る。
そこには男と女に挟まれて
子供みたいな体を震わせている
自分がいた。
うちってお父さんいなくて
男の人お兄ちゃんだけでしょ？
私最近まで男ってみんな
お兄ちゃんみたいに弱いくせに
見栄ばっかり張ってる人たちだって
思ってたの。
でもリョウくんに出会って
本当の男を知って分かったの。
お兄ちゃんは男じゃないんだって。
心は女の子なのに男の肉体に
囚われてる可哀想な子なんだって。
そういうとサヤは
洗面台に置いてあった
何かの器具のようなものを
オレの股間につけ始めた。

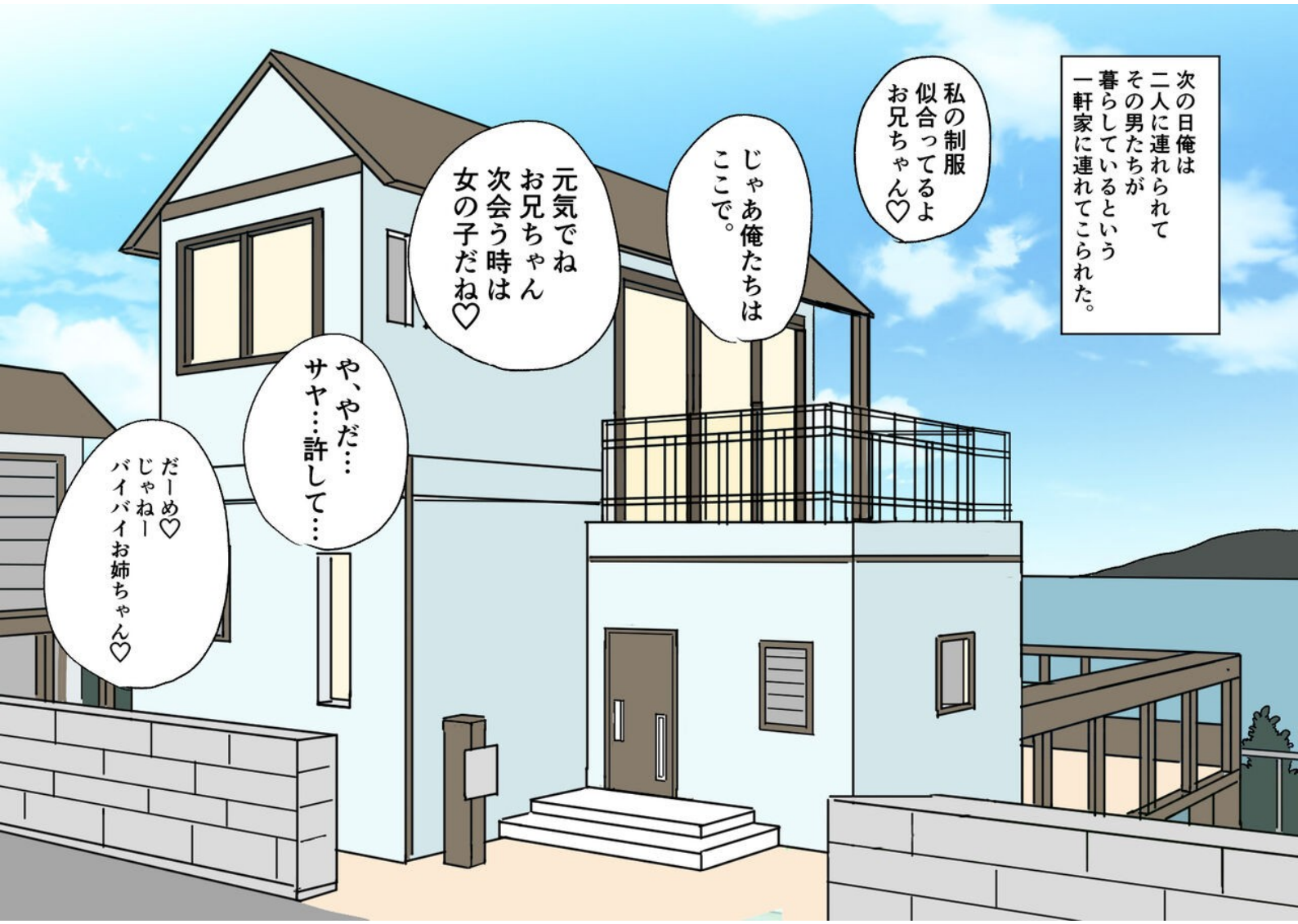
えーっと
タマタマの根っこを
固定して…
おちんちんを
ここに入れて、
あはっ
かわいいおちんちん♪
これがおまんこに
入ってきても
分からなさそう笑
カチャ
カチャ
ーで、
この鍵を
閉めれば…
あは♡
かんせ～い♡
カチッ♡
ついでに私が
小学生の頃つけてた
カチューシャもつけて
あげるね♡


ジャーン！
貞操帯だよ♡
お兄ちゃんはオカマとして
生きていくんだから
おちんちんのことは
忘れちゃおーね
ガタガタ
お、
おかま…？
そうオカマ。
お兄ちゃんは
今日からメスなの。
つまり犯される側
ってこと♡
あっもしもし叔父さん？
この前言ってた雑魚オス
明日そっちに行かせても
平気？
オレの玉の付け根と
ちんこの全体が
器具にキツく締め付けられる。
キュウッ
状況が飲み込めないまま
男はどこかに電話を
かけ始めた。


もしもしー、
オッケーオッケー
ちょうど一部屋空いてるし
何なら今からでも
来てほしいくらいだ。
あはは笑
もしかして
取り込み中
だった？
あんっ♡
そこっ♡
ああああ
あん♡
クチュ♡
クチュ♡
まあね。
愛しの妻たちを
可愛がってるとこだよ。
明日楽しみにしてるね。
もっ♡あ♡
ゆるしてえ♡
パン♡
パン♡


え？
え？
と、いうことで。
オレの叔父さん
オカマ好きの
変態だからさ、
キミをメスに
改造してくれるよう
頼んどいたわ。
メスに対しては
とっても紳士な
優しい人だから
安心して調教して
もらってね！
どういう
こと？
どういう
こと？
はいオスとしての
人生しゅーりょー♡
変態オカマとしての
人生頑張ってね♡

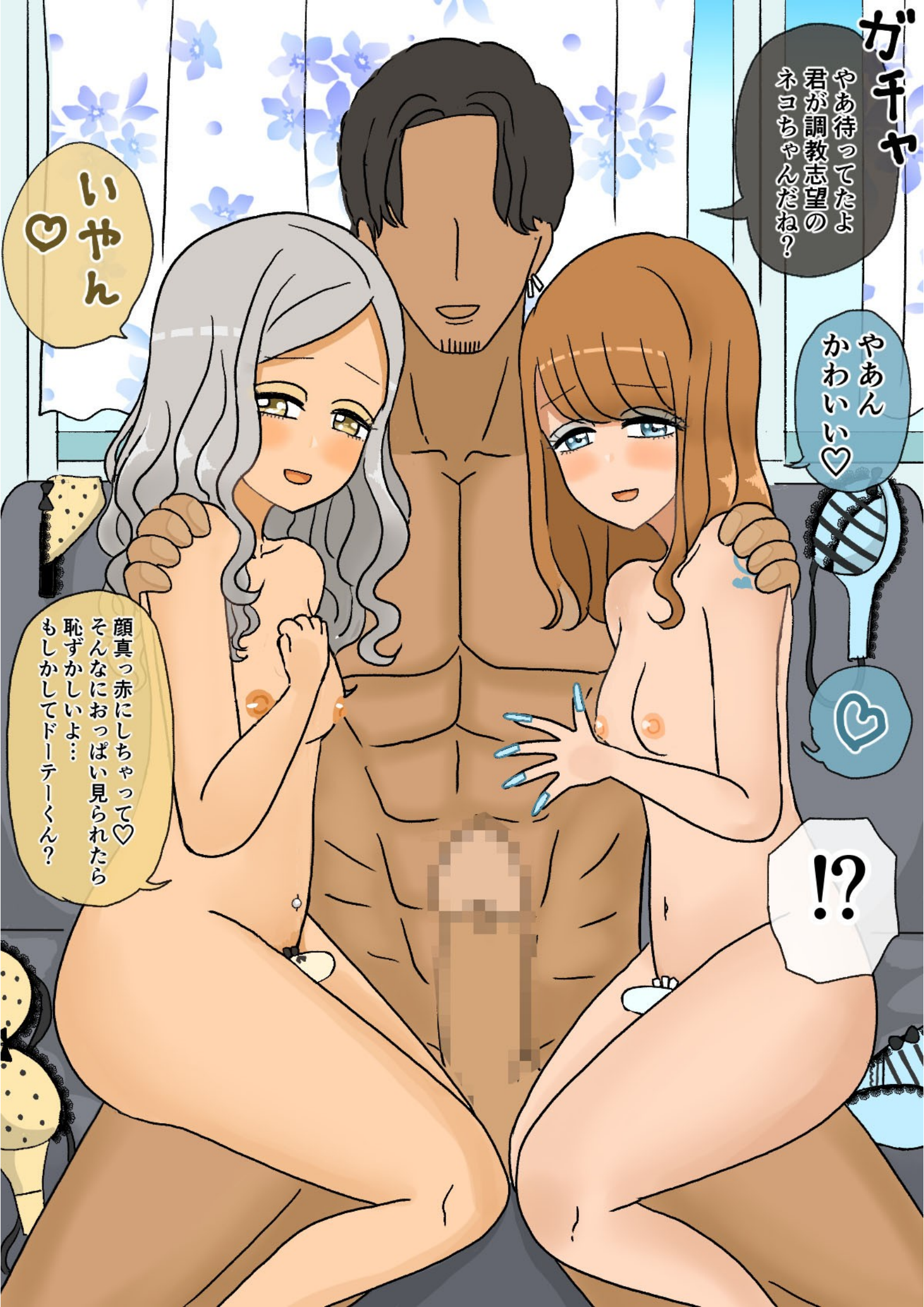

明日からメス化調教希望の子が来るってさ。二人ともメスの先輩としてしっかり可愛がってあげてね
ふふふっかわいいなあ
おっ♡おおおおん♡
ビクン♡
キュウ♡
おおっ♡おお♡
おおおおっ♡
ビクン♡
キュウ～♡
ビクン♡

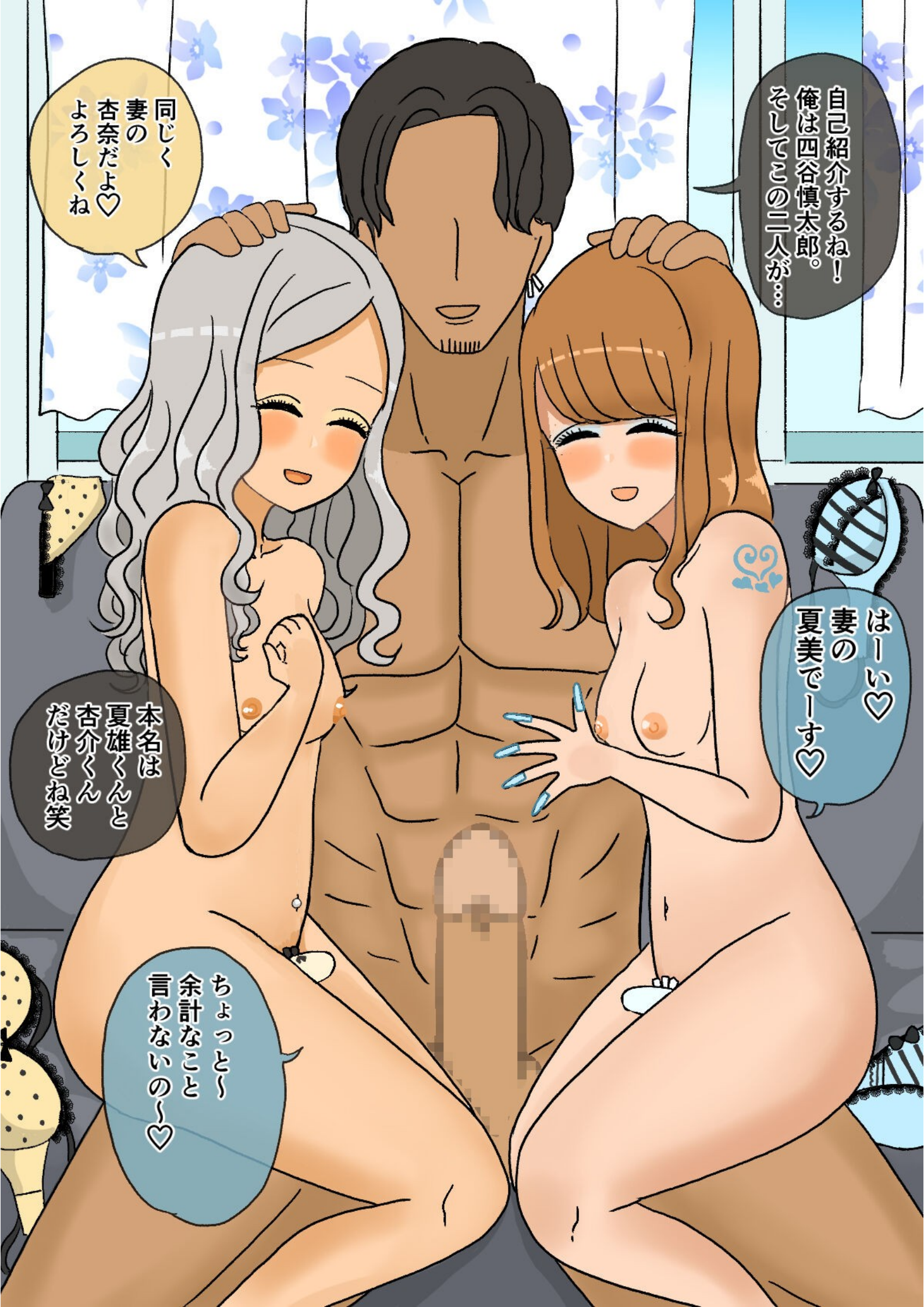

次の日俺は
二人に連れられて
その男たちが
暮らしているという
一軒家に連れてこられた。
私の制服
似合ってるよ
お兄ちゃん♡
じゃあ俺たちは
ここで。
元気でね
お兄ちゃん
次会う時は
女の子だね♡
や、やだ…
サヤ…許して…
だーめ♡
じゃねー
バイバイお姉ちゃん♡

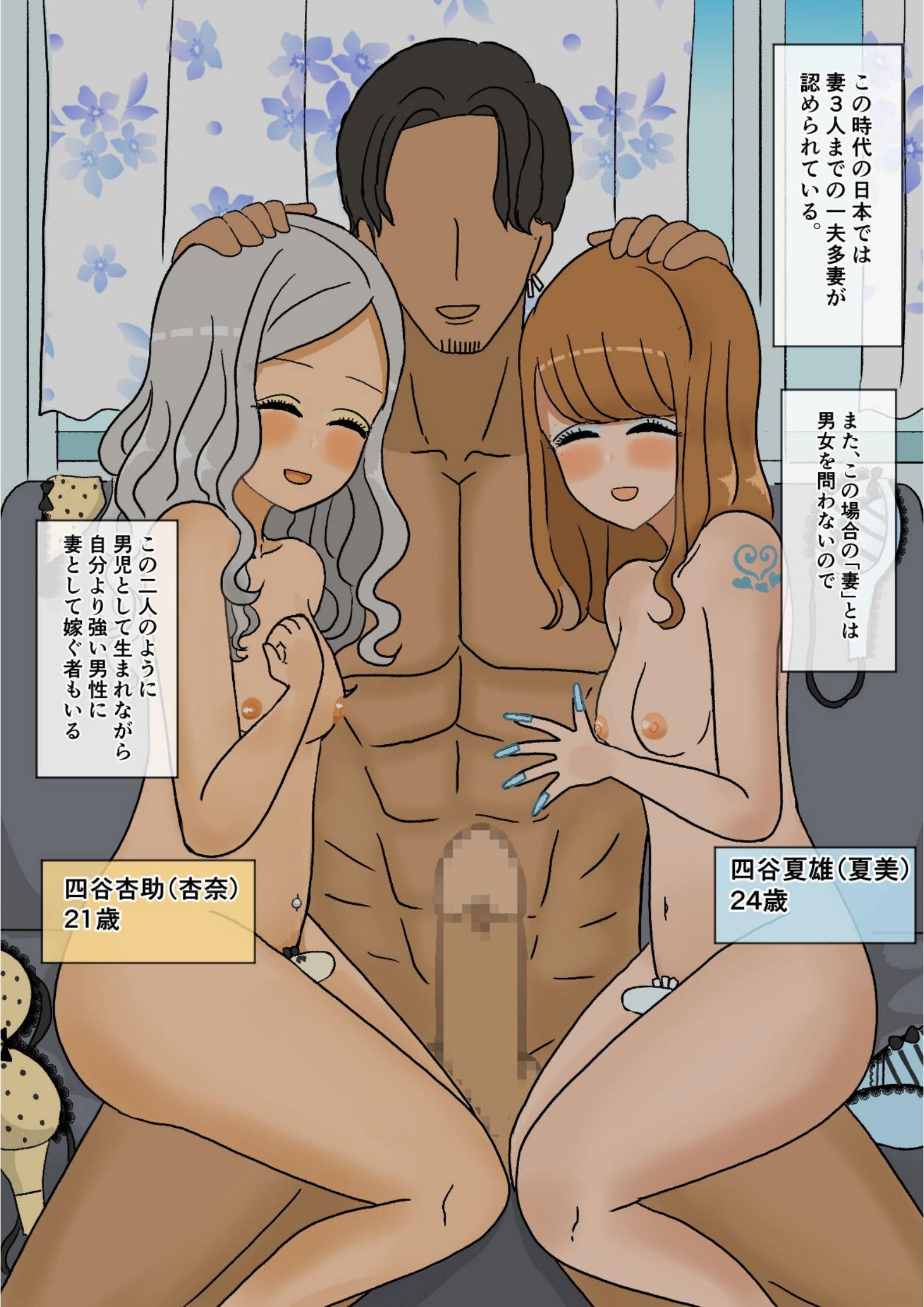
二人が帰って
玄関先で一人に
なってようやく、
自分の惨めな
現状が実感として
襲ってきた。
グスン…
実の妹に
子供みたいな
体だと笑われて
貞操帯までつけられて…
強い男になりたかった
だけなのに…
俺が玄関のベルを
鳴らせたのは
惨めな涙がなんとか
収まった後だった。

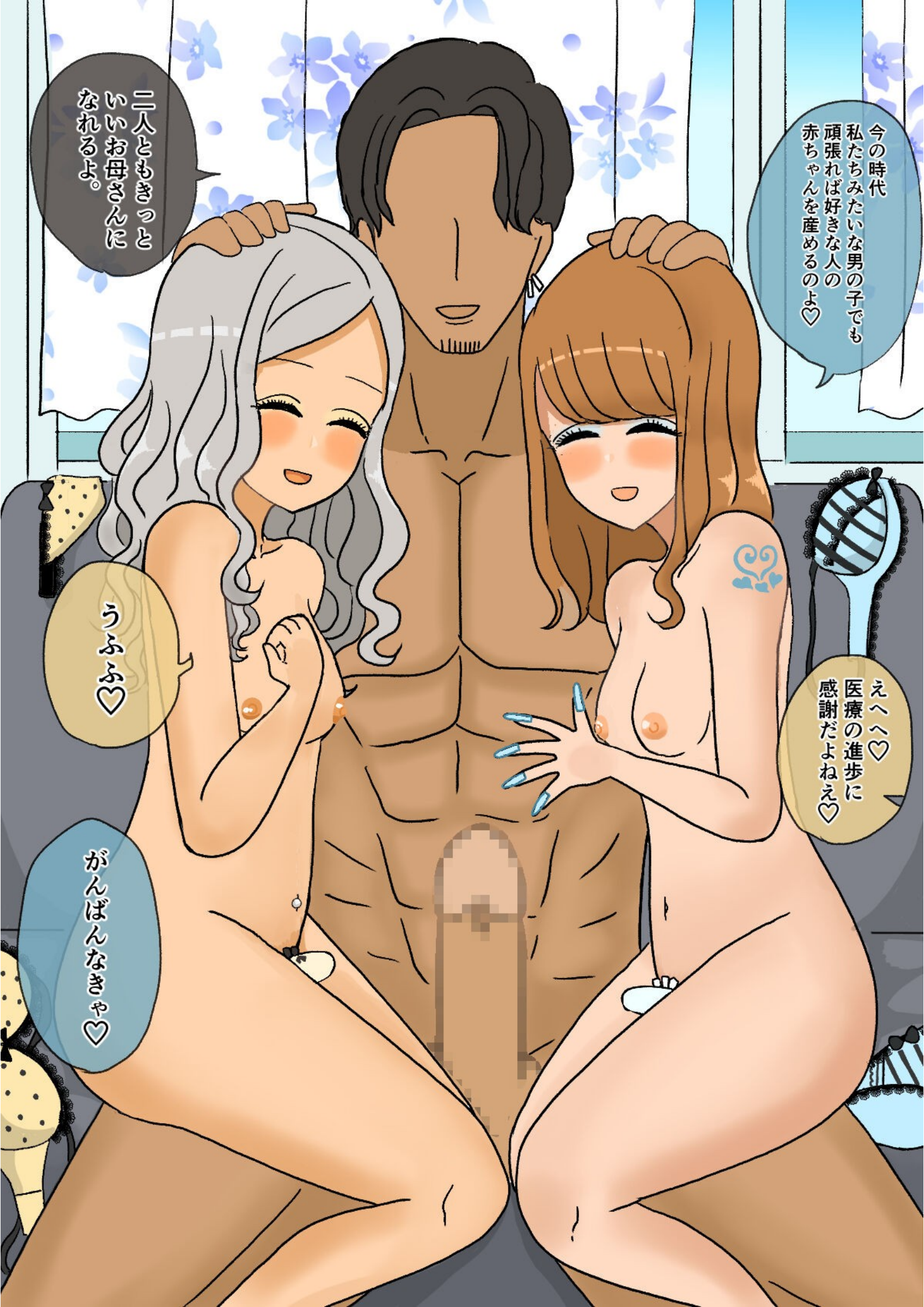
はーい♡
空いてるから
リビングまで
入ってきちゃって～♡
ベルを鳴らすと
インターホンから
ハスキーな女の声が
そう応えた。
俺は恐る恐るドアを開け、
廊下を通って
リビングの戸を開けた

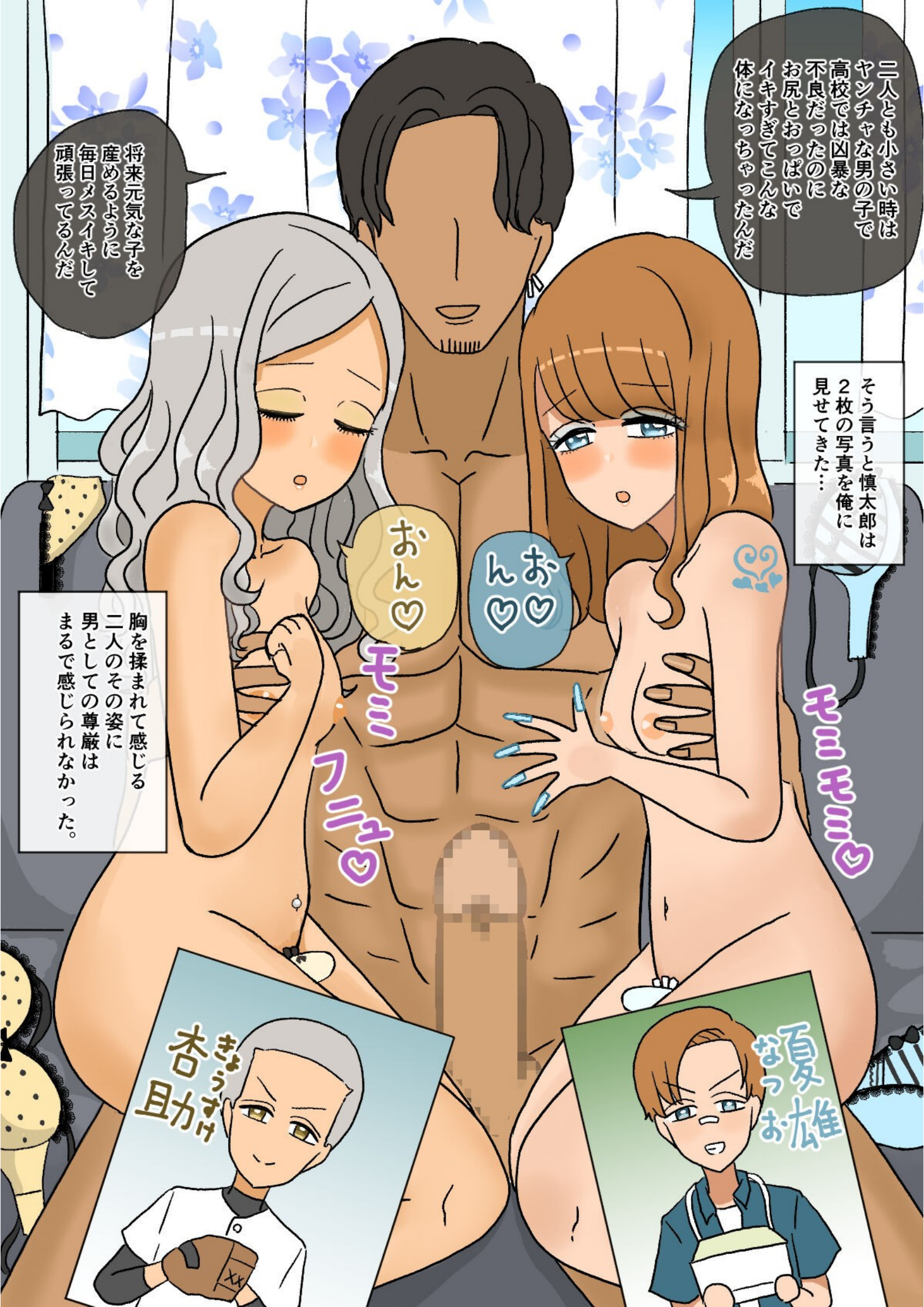
ちょっとお♡
もう来るから
おっぱい揉むの
やめてってばあ♡
あん♡
廊下にさっきの
ハスキーな声…
それともう一人の
猫撫で声が漏れている…
オレは恐る恐る
廊下を横切り
声のする部屋の
ドアを開けた
ガチャッ

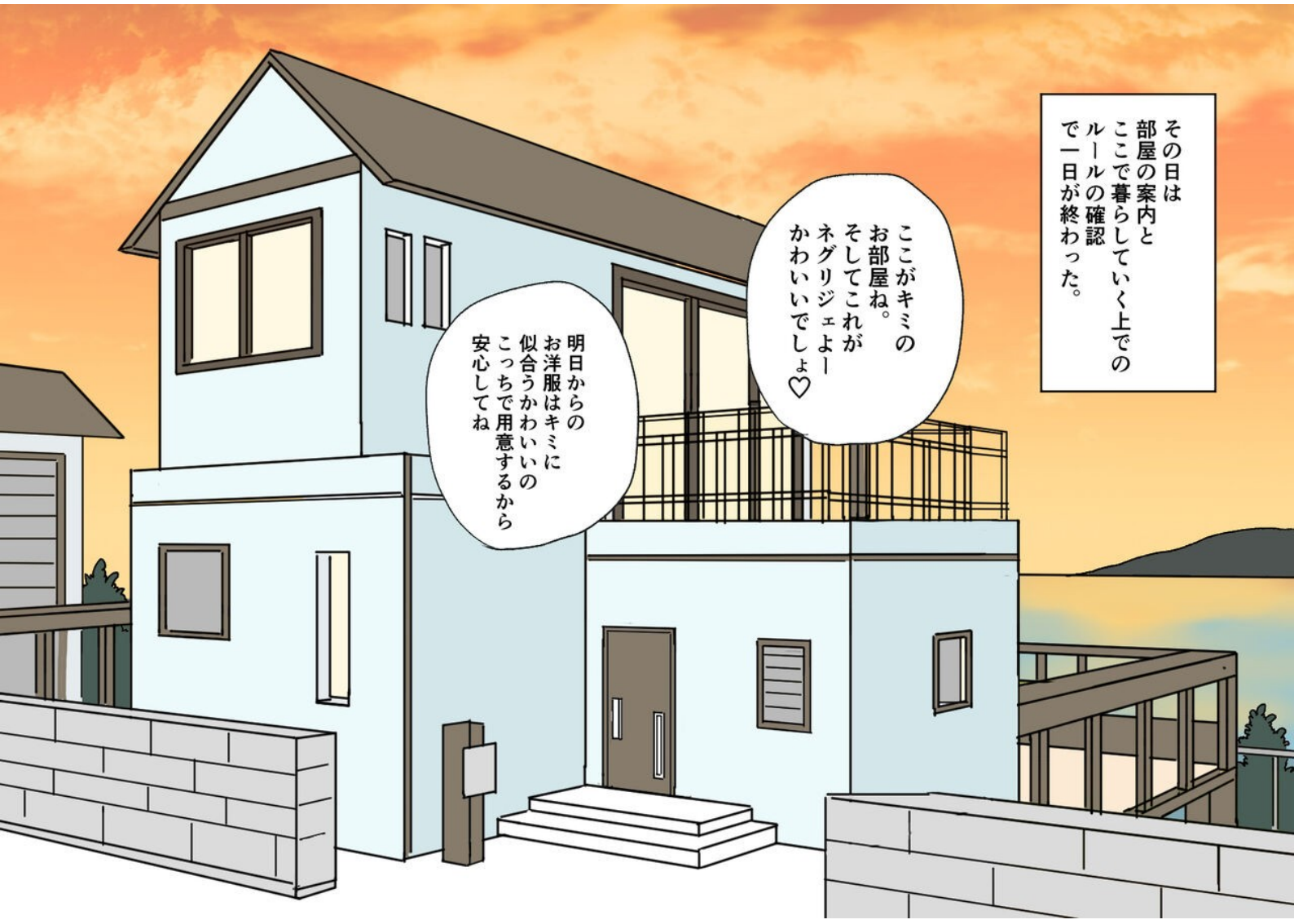

ガチャ
やあ待ってたよ
君が調教志望の
ネコちゃんだね？
やあん
かわいい♡
いやん♡
顔真っ赤にしちゃって♡
そんなにおっぱい見られたら
恥ずかしいよ…
もしかしてドーテーくん？
!?

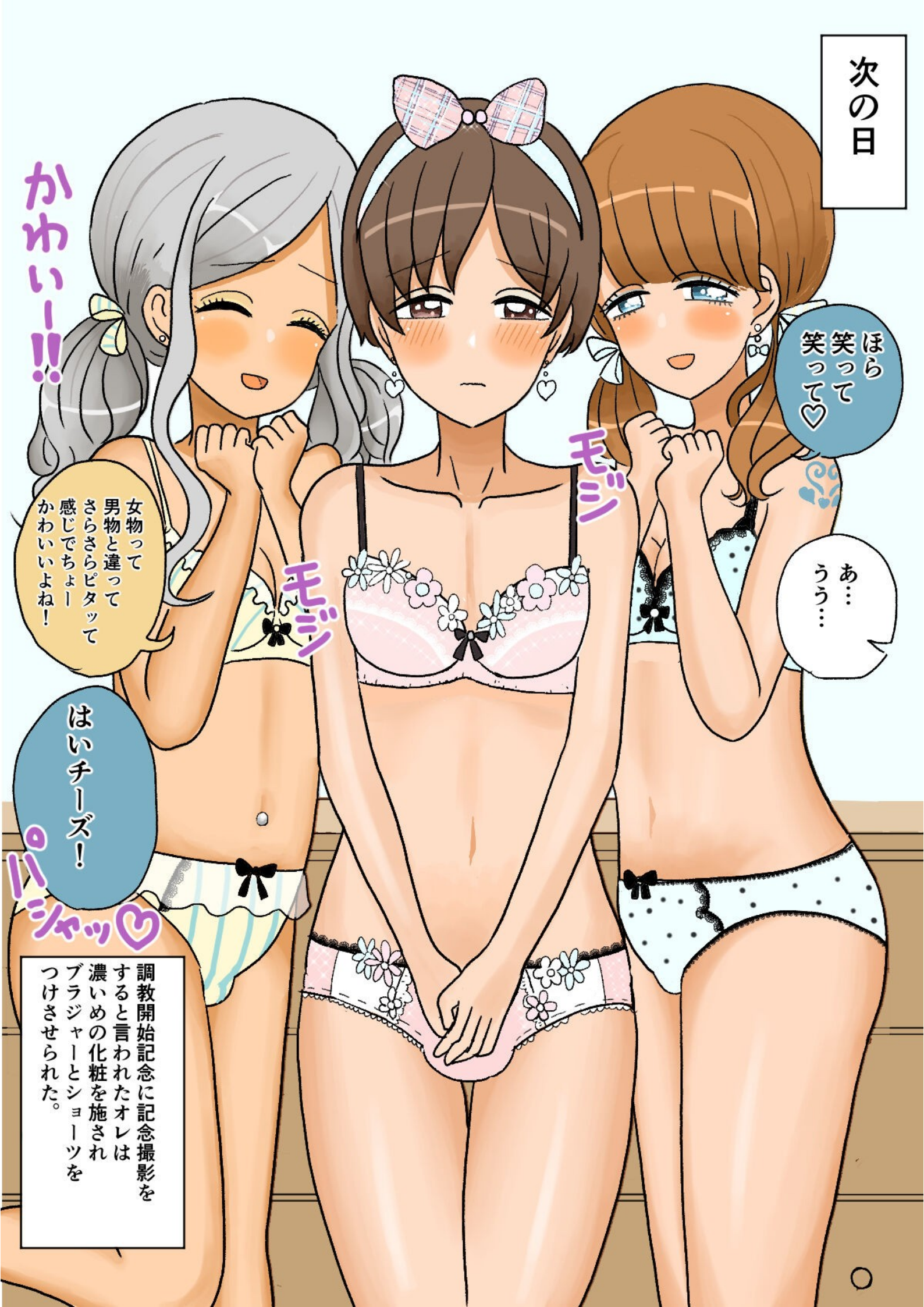

自己紹介するね！
俺は四谷慎太郎。
そしてこの二人が…
同じく
妻の
杏奈だよ♡
よろしくね
はーい♡
妻の
夏美でーす♡
本名は
夏雄くんと
杏介くん
だけどね笑
ちょっと～
余計なこと
言わないの～♡

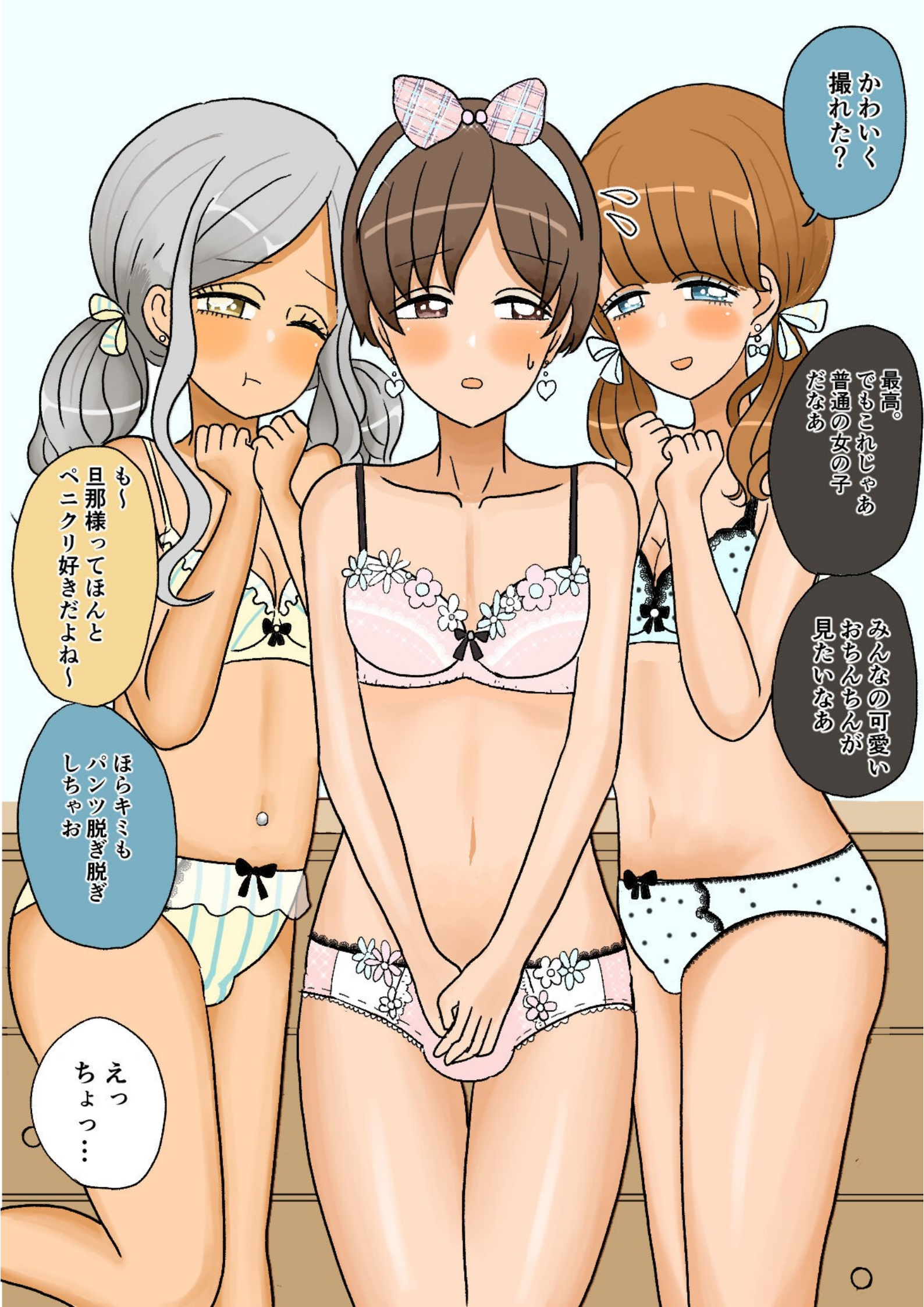

この時代の日本では
妻3人までの一夫多妻が
認められている。
また、この場合の「妻」とは
男女を問わないので
この二人のように
男児として生まれながら
自分より強い男性に
妻として嫁ぐ者もいる
四谷杏助（杏奈）
21歳
四谷夏雄（夏美）
24歳


今の時代
私たちみたいな男の子でも
頑張れば好きな人の
赤ちゃんを産めるのよ♡
二人ともきっと
いいお母さんに
なれるよ。
えへへ♡
医療の進歩に
感謝だよねえ♡
うふふ♡
がんばんなきゃ♡


二人とも小さい時はヤンチャな男の子で高校では凶暴な不良だったのにお尻とおっぱいでイキすぎてこんな体になっちゃったんだ
将来元気な子を産めるように毎日メスイキして頑張ってるんだ
そう言うと慎太郎は2枚の写真を俺に見せてきた…
胸を揉まれて感じる二人のその姿に男としての尊厳はまるで感じられなかった。
おん♡
モミ
フニュ♡
お♡ん♡
モミモミ♡
きょうすけ
杏助
なつお
夏雄

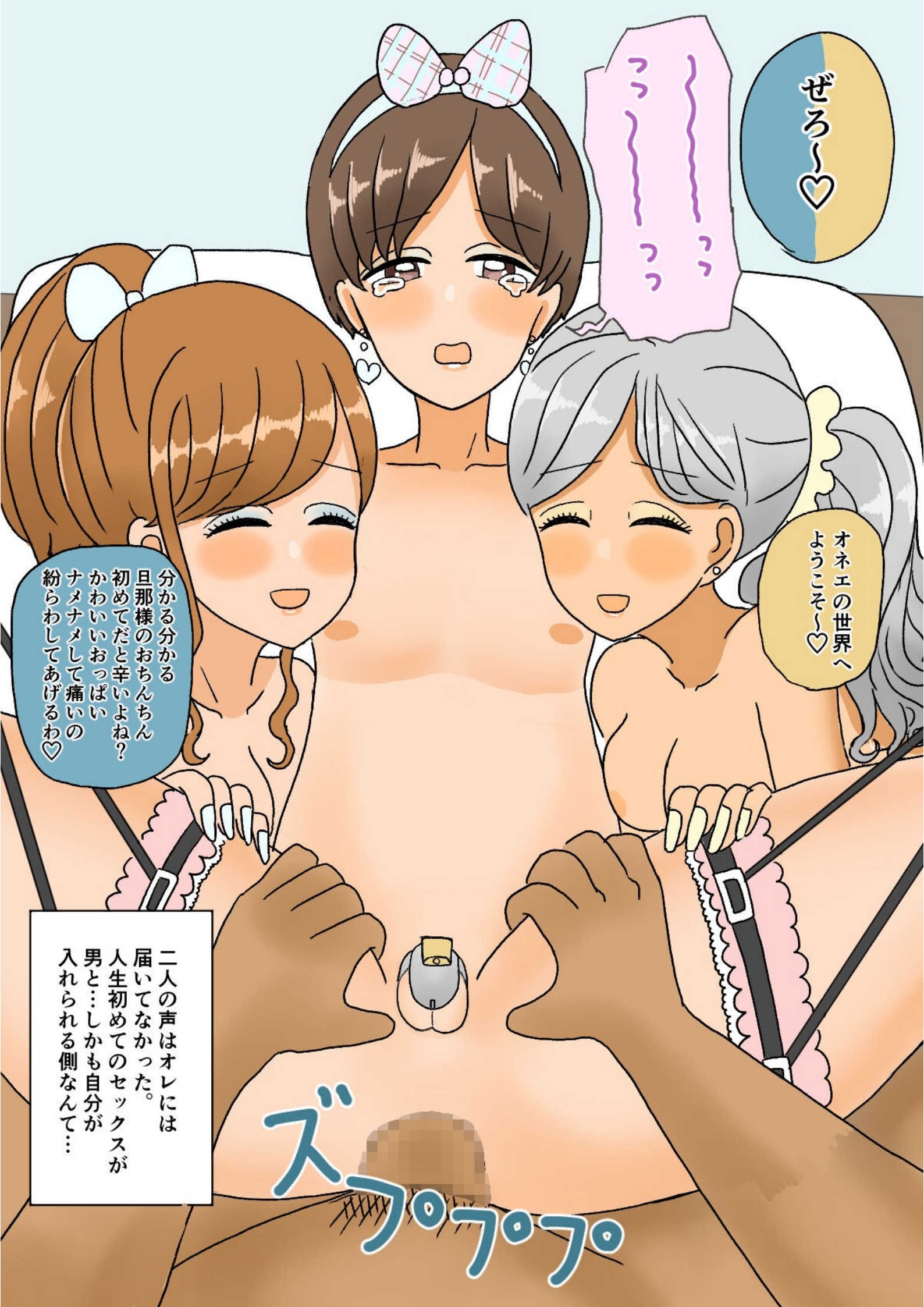

その日は
部屋の案内と
ここで暮らしていく上での
ルールの確認
で一日が終わった。
ここがキミの
お部屋ね。
そしてこれが
ネグリジェよー
かわいいでしょ♡
明日からの
お洋服はキミに
似合うかわいいの
こっちで用意するから
安心してね

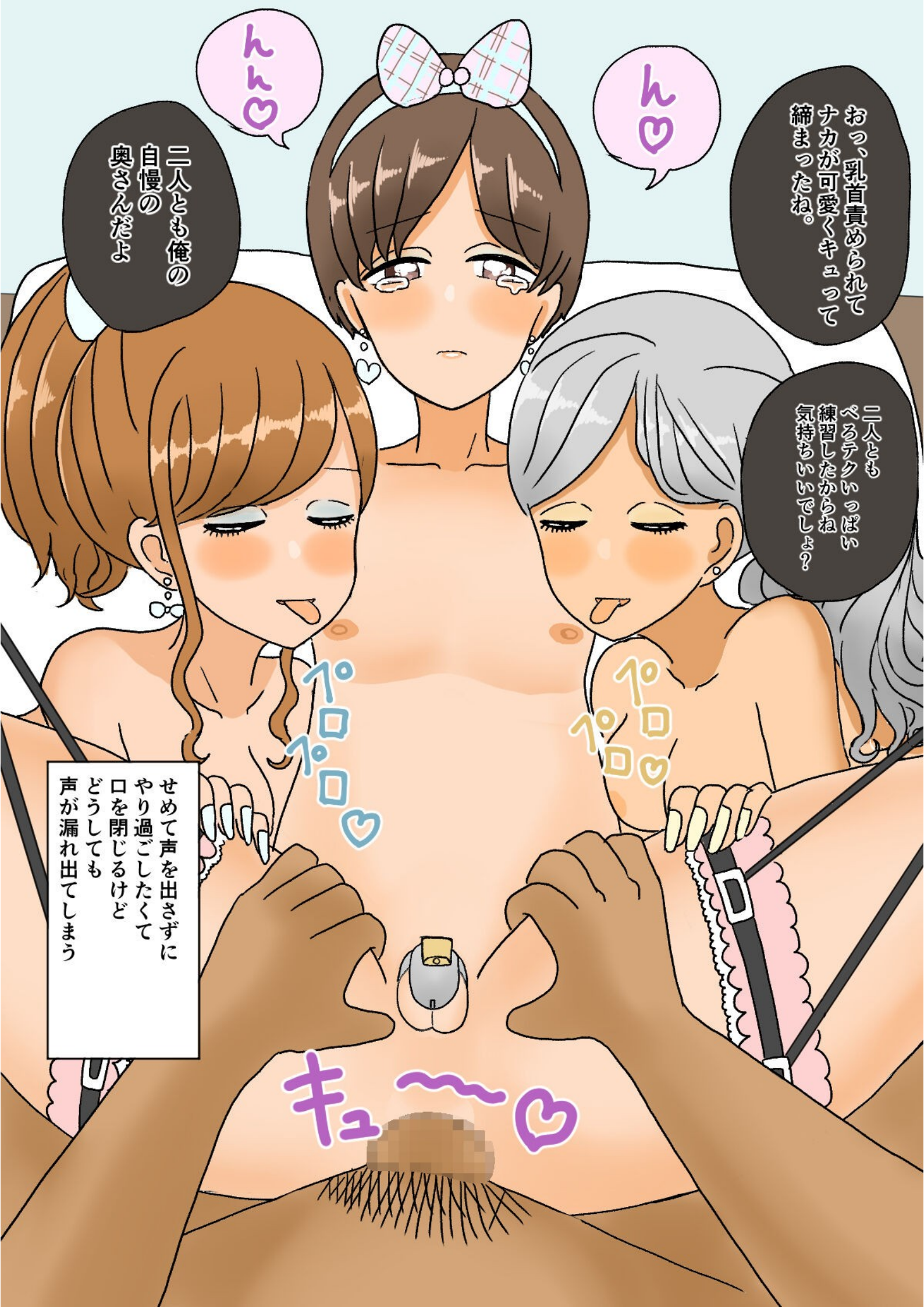

次の日
ほら笑って笑って♡
あ…うう…
モジ
モジ
かわいー!!
女物って男物と違ってさらさらピタッて感じでちょーかわいいよね！
はいチーズ！
パシャッ♡
調教開始記念に記念撮影をすると言われたオレは濃いめの化粧を施されブラジャーとショーツをつけさせられた。

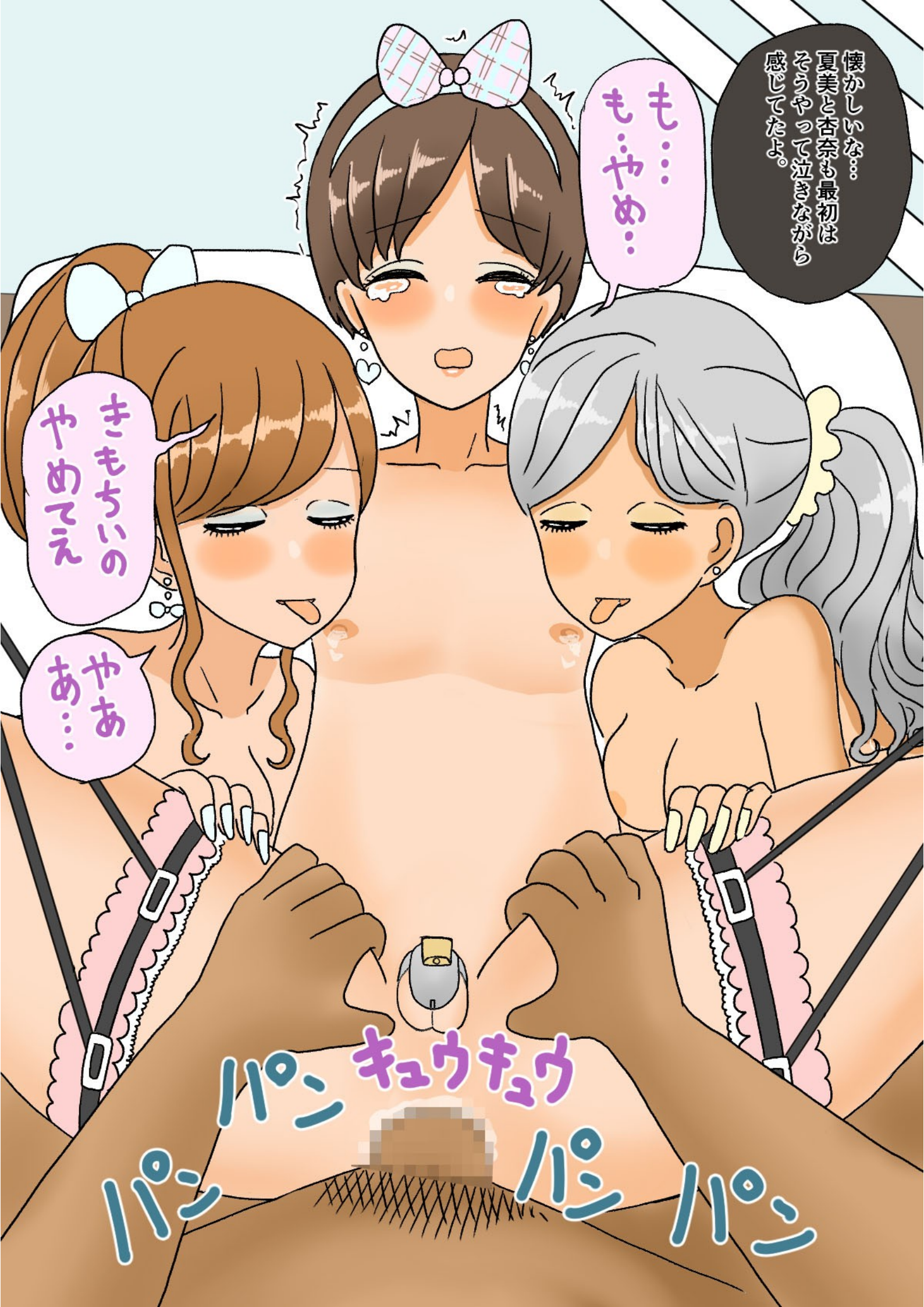

かわいく撮れた？
最高。でもこれじゃあ普通の女の子だなあ
みんなの可愛いおちんちんが見たいなあ
も～旦那様ってほんとペニクリ好きだよね～
ほらキミもパンツ脱ぎ脱ぎしちゃお
えっちょっ…

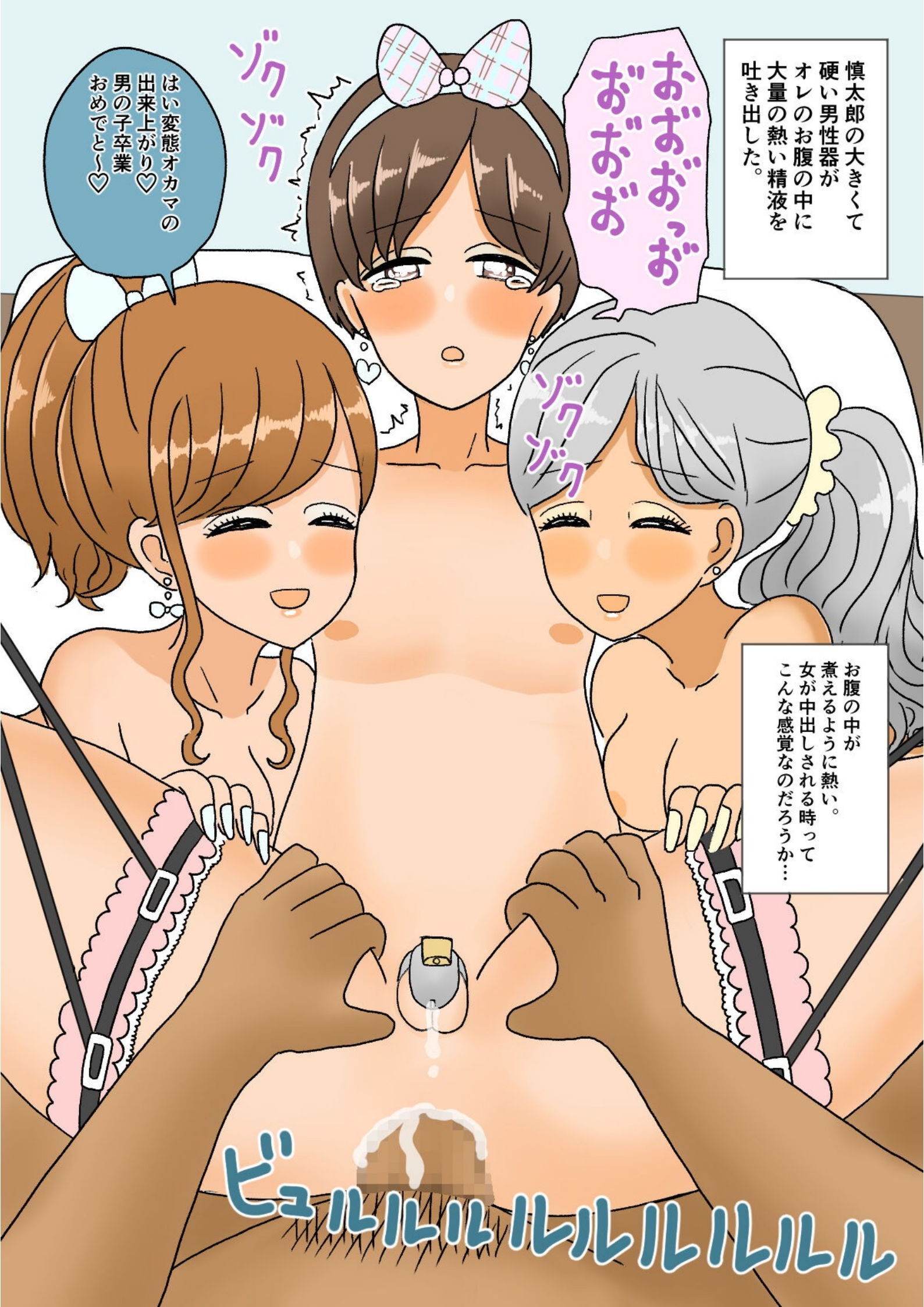
うんうん、ちっちゃくてかわいいお姫様みたいなおちんちんだね
とらないで…
これから毎日つけるんだからそんなんじゃ身が持たないぞお
パシャ
カァァ…
パシャ
貞操帯の中で縮こまっちゃってかわいそう♡
私たちもだけど…
男の子に生まれたのにブラつけてお顔真っ赤にしちゃうなんてこのヘンタイ♡
チョコン♡
キュウ…
チョコン♡
毎日ブラジャーをつけなきゃいけない、そう思うと男としての惨めさで目の前がクラクラした。

ブラ撮影の日の夜、
オレはベッドで
開脚させられて…
この後何をされるのかは
考えたくもなかった。
ああ…
やめて…
処女卒業まで
あと〜
3
2
1
い、いやだ…
やめて…
キュウ…
チュッ♡
ピトッ


ぜろ～♡
～～～っっ
っっ～～～っっ
オネェの世界へようこそ～♡
分かる分かる
旦那様のおちんちん
初めてだと辛いよね？
かわいいおっぱい
ナメナメして痛いの
紛らわしてあげるわ♡
二人の声はオレには届いてなかった。
人生初めてのセックスが男と…しかも自分が入れられる側なんて…
ズプププ

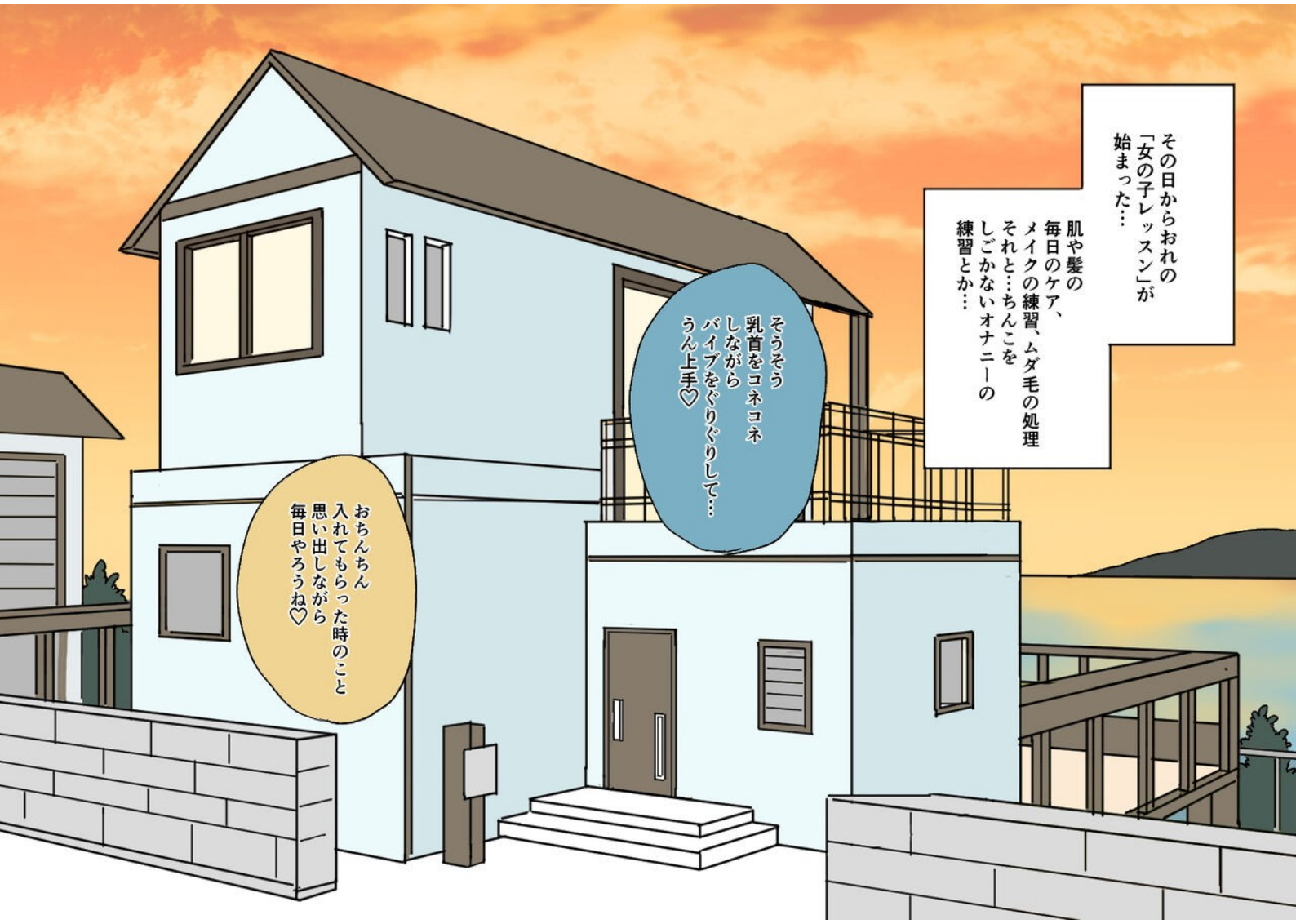

んん♡
ん♡
おっ、乳首責められてナカが可愛くキュって締まったね。
二人ともベろテクいっぱい練習したからね気持ちいいでしょ？
二人とも俺の自慢の奥さんだよ
プロプロ♡
プロプロ♡
キュ～～♡
せめて声を出さずにやり過ごしたくて口を閉じるけどどうしても声が漏れ出てしまう

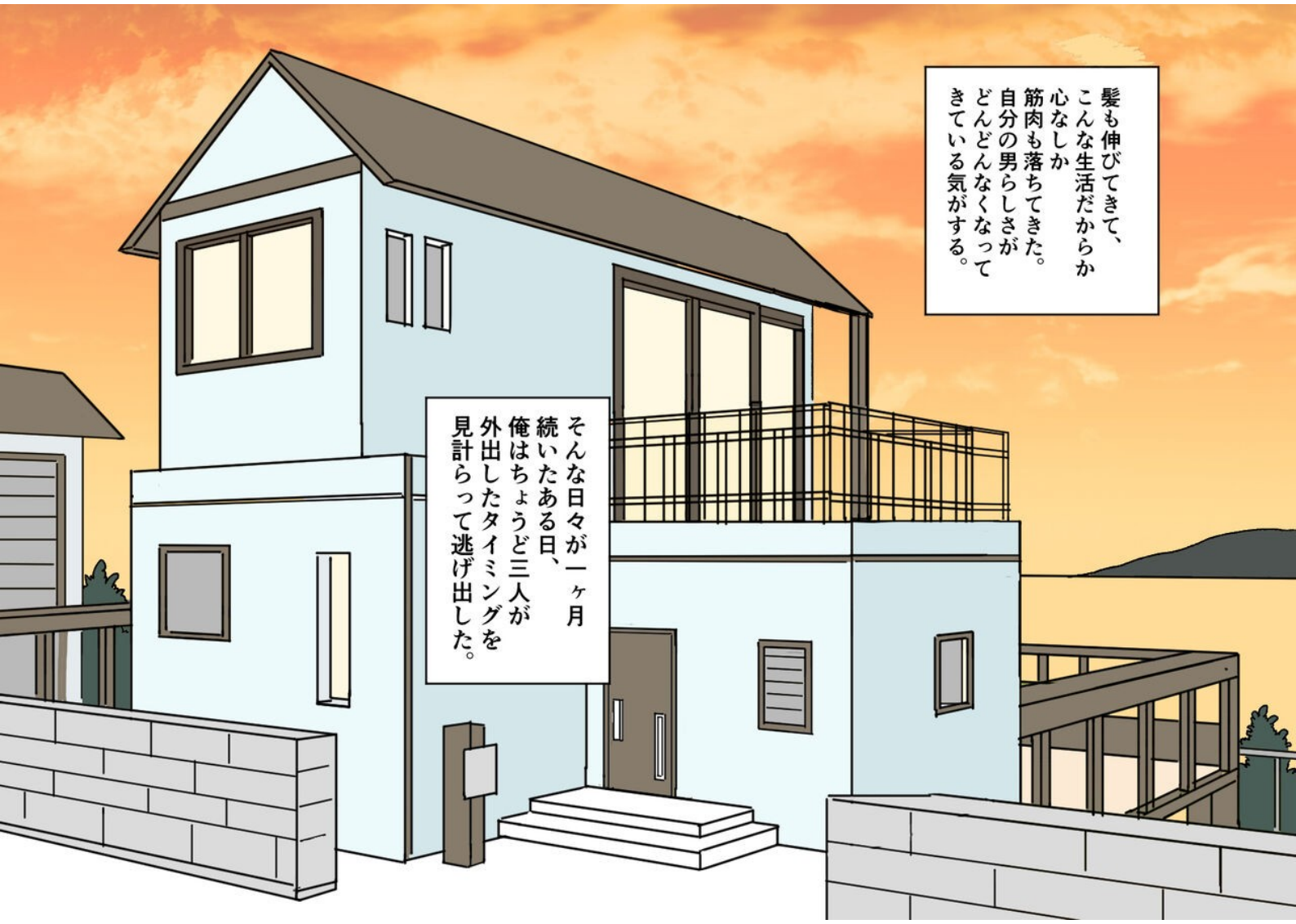

懐かしいな…
夏美と杏奈も最初は
そうやって泣きながら
感じてたよ。
も…
も…やめ…
きもちいの
やめてえ
やあ
あ…
パン
キュウキュウ
パン
パン
パン

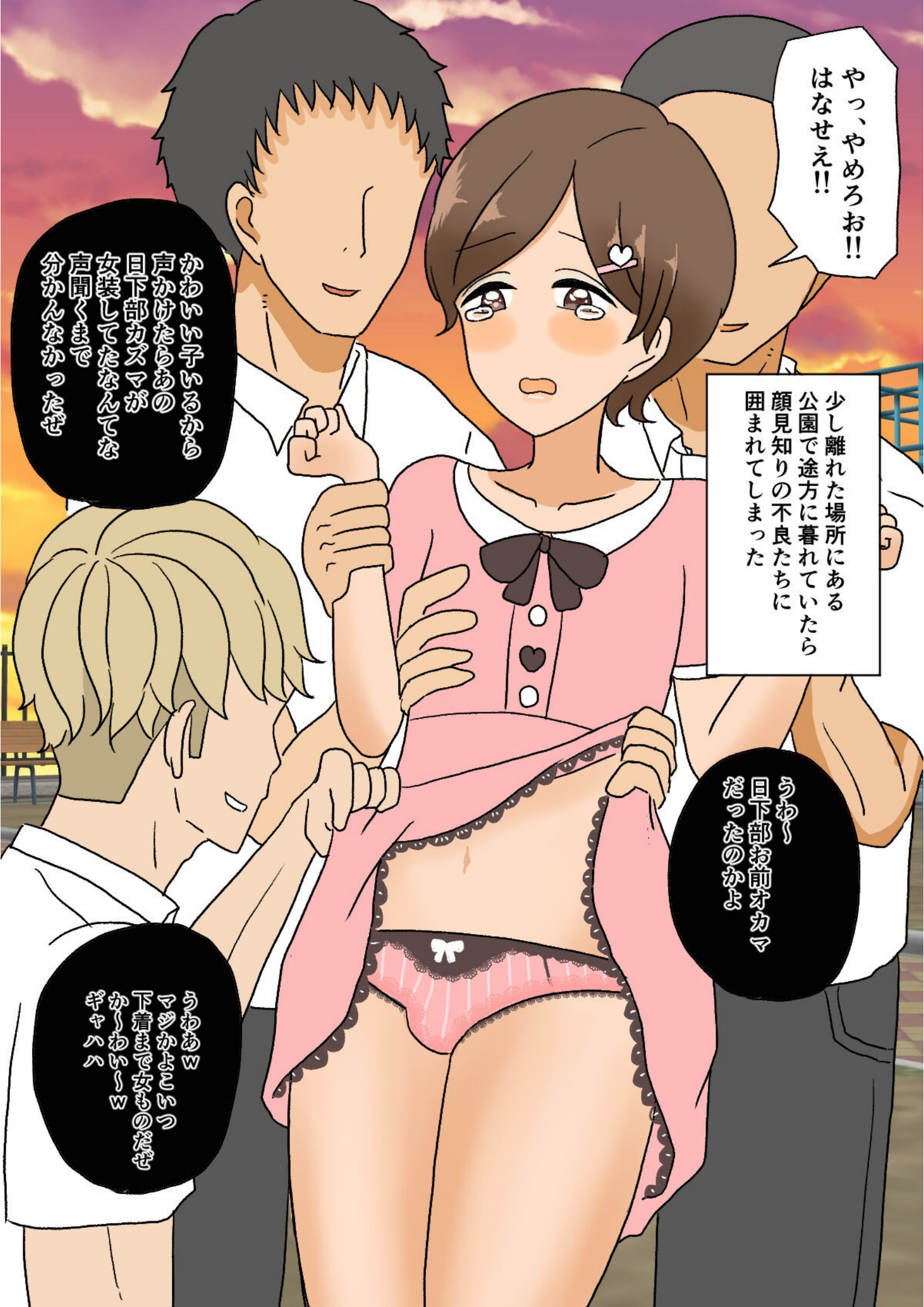

慎太郎の大きくて
硬い男性器が
オレのお腹の中に
大量の熱い精液を
吐き出した。
おおおっ
おおおお
ゾクゾク
はい変態オカマの
出来上がり♡
男の子卒業
おめでと～♡
ゾクゾク
お腹の中が
煮えるように熱い。
女が中出しされる時って
こんな感覚なのだろうか…
ビュルルルルルルルルル

やっと静液を
出し切ったのか、
慎太郎の男性器が
オレの尻からゆっくり
引き抜かれた。
ビク
おう♡
やぁん…♡
ビク
ゾワ
ゾワ
わかるわかる～
デカチンって抜かれる時も
気持ちいいんだよね～
でもせっかく
殿方が恵んでくれた
性液を
こぼしちゃうなんて
悪い子ねえ♡
そういうと夏美は
クッションの下から
何かを取り出して
性液がコプコプと漏れ出ている
オレの尻穴に栓をした。
トロ♡
ジュポッ

ハート型のアナルプラグ、私たちからのプレゼントよ♡
おおん♡
おおおおん♡♡
びくん
大量の熱い性液がせき止められるだけじゃなく、プラグの膨らみがちんこの裏側を圧迫してきて苦しい。
大丈夫。ちゃんと女の子らしく内股にしてればつらくないからね。
そうそう、ブラと一緒に毎日つけて女の子の気持ちで過ごそうね♡
キュ♡ッ♡


その日からおれの
「女の子レッスン」が
始まった…
肌や髪の
毎日のケア、
メイクの練習、ムダ毛の処理
それと…ちんこを
しごかないオナニーの
練習とか…
そうそう
乳首をコネコネ
しながら
バイブをぐりぐりして…
うん上手♡
おちんちん
入れてもらった時のこと
思い出しながら
毎日やろうね♡


髪も伸びてきて、
こんな生活だからか
心なしか
筋肉も落ちてきた。
自分の男らしさが
どんどんなくなって
きている気がする。
そんな日々が一ヶ月
続いたある日、
俺はちょうど三人が
外出したタイミングを
見計らって逃げ出した。


やっ、やめろお!!
はなせえ!!
少し離れた場所にある
公園で途方に暮れていたら
顔見知りの不良たちに
囲まれてしまった
うわ〜
日下部お前オカマ
だったのかよ
かわいい子いるから
声かけたらあの
日下部カズマが
女装してたなんてな
声聞くまで
分かんなかったぜ
うわあw
マジかよこいつ
下着まで女ものだぜ
か〜わい〜w
ギャハハ

お尻のプラグのせいで
自然と内股になってしまう。
いや、スカートをめくられて
ショーツを見られたオレは
自分の意思で内股で
抵抗していた。
や…
やだ…
たすけて…
たすけて…
じゃあ手足縛って
倉庫連れ込むか
おいこいつ俺らで
犯しちまおうぜ
さんセーいw
ケツセックス興味あるのに
彼女がヤラせて
くんねえんだよなw
恐怖で大声も
出せなかった。
もうダメかと
思ったその時

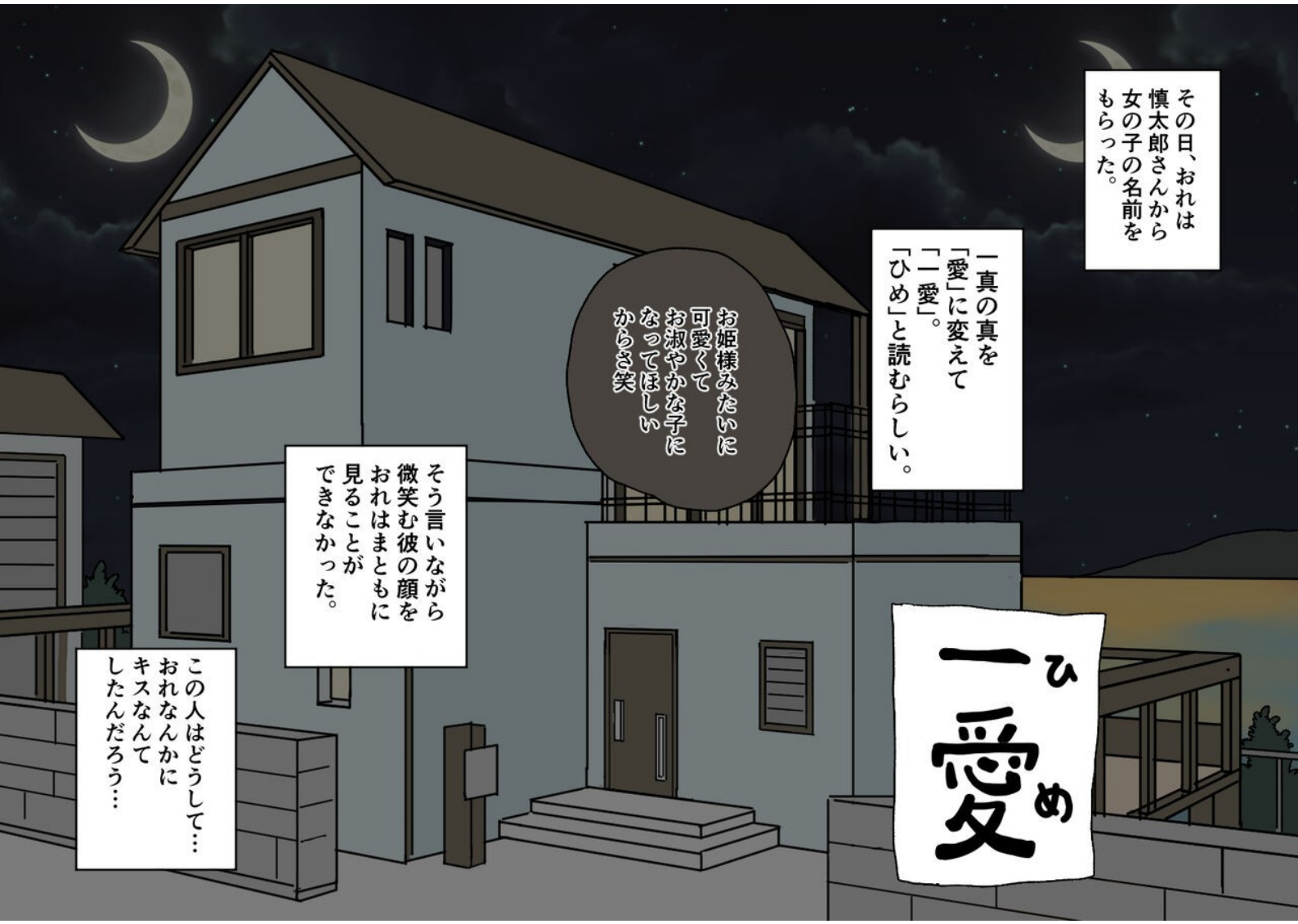
キミたち女の子相手に
寄ってたかって
恥ずかしくないのかい？
ああ？
誰だおっさん
こいつはこんな
格好してても
男…
問答無用
当て身
ザッ
ドムッ
ドムッ
ぐえっ
なっ、
なんだこいつ
強えっぐえっ
ドサ
全く…
弱い男ほど
群れて他人を
傷つけるから
よくない

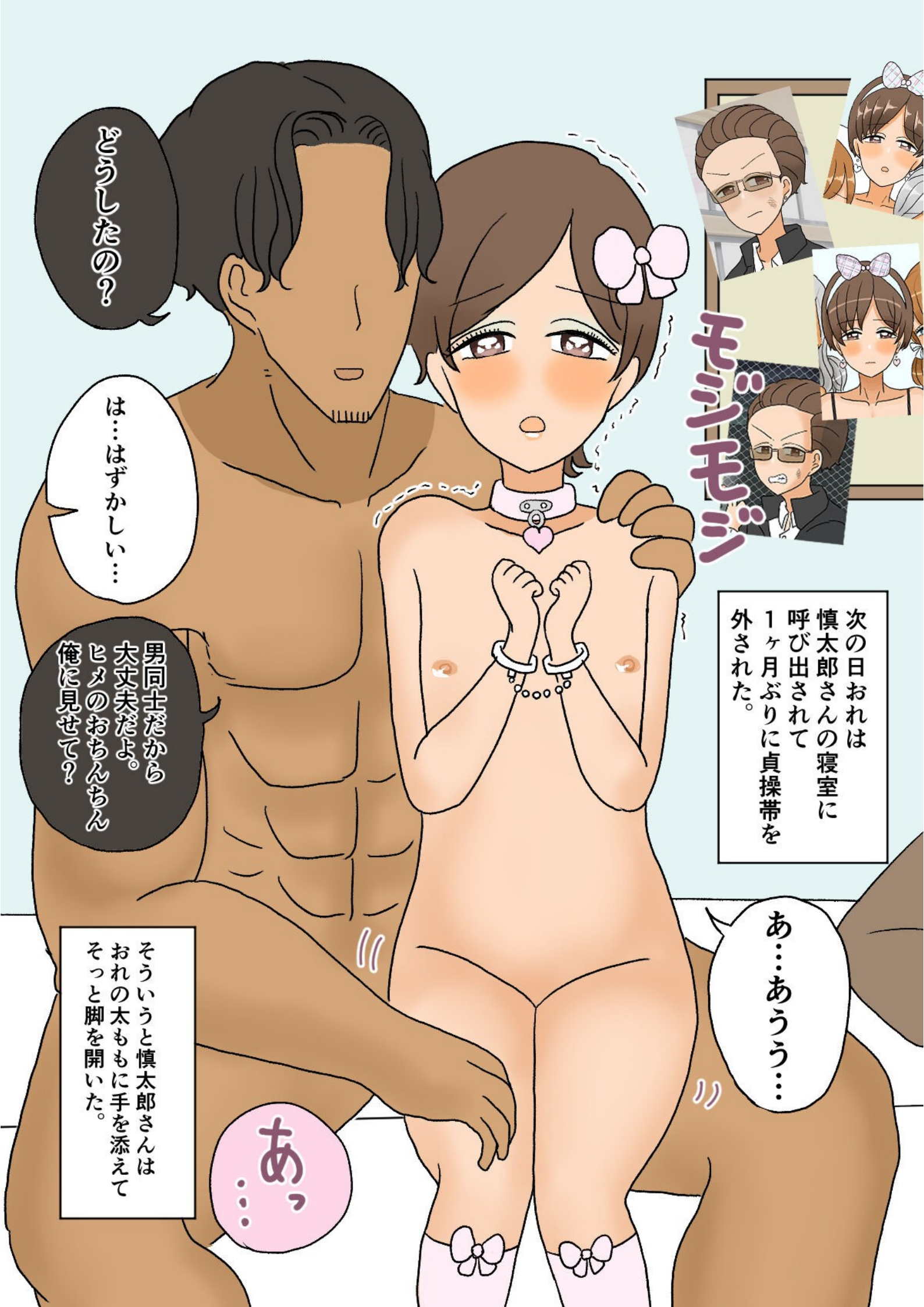
ケガは？
ガタ……
ガタ
ガタ
突然現れて
俺を助けてくれたのは
慎太郎だった。
慎太郎は俺をお姫様抱っこして
家路を歩いた。
さっきの恐怖で
震えが止まらない。
慎太郎は
そんな俺をしばらく
黙って見ていた。
そしてゆっくりと
顔を近づけて…

チュッ
トクン…
え…
…？

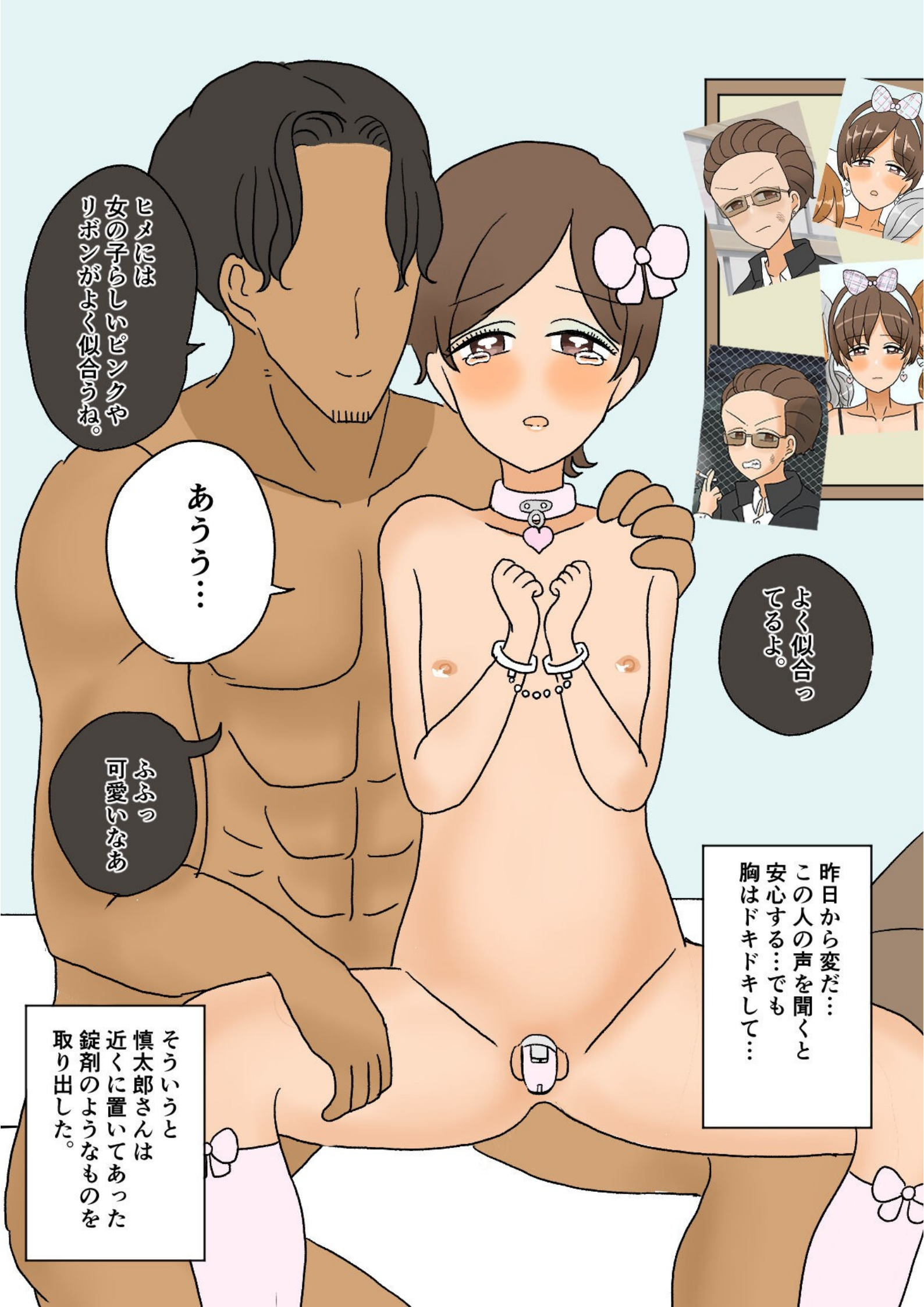
怖かったね。
もう大丈夫だよ。
ドキドキ
ドキドキ
ドキドキ
男らしく
低くて優しい声で
囁かれて、
体の震えが
引いていくのが
分かった。
その代わりに
胸のあたりが
ドキドキして
顔がみるみる熱くなった。

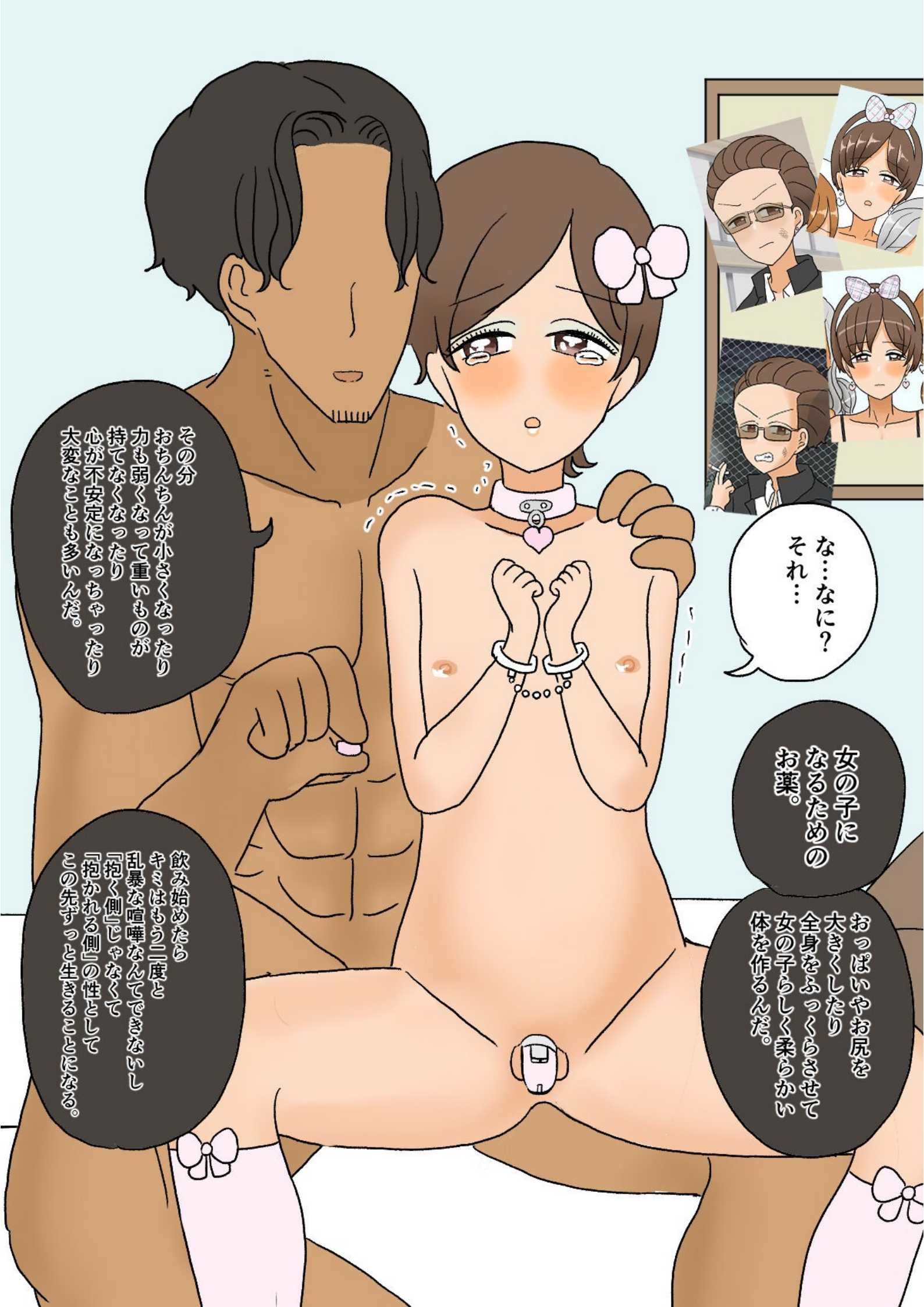
ただいま～
あ、おかえり～
も～心配したんだから！
家に帰るとナツミさんとアンナさんが優しく出迎えてくれた。
心配しすぎて腹が減ったな笑
私たちも今帰ってきてご飯作り出したところだからもう少し待っててね♡

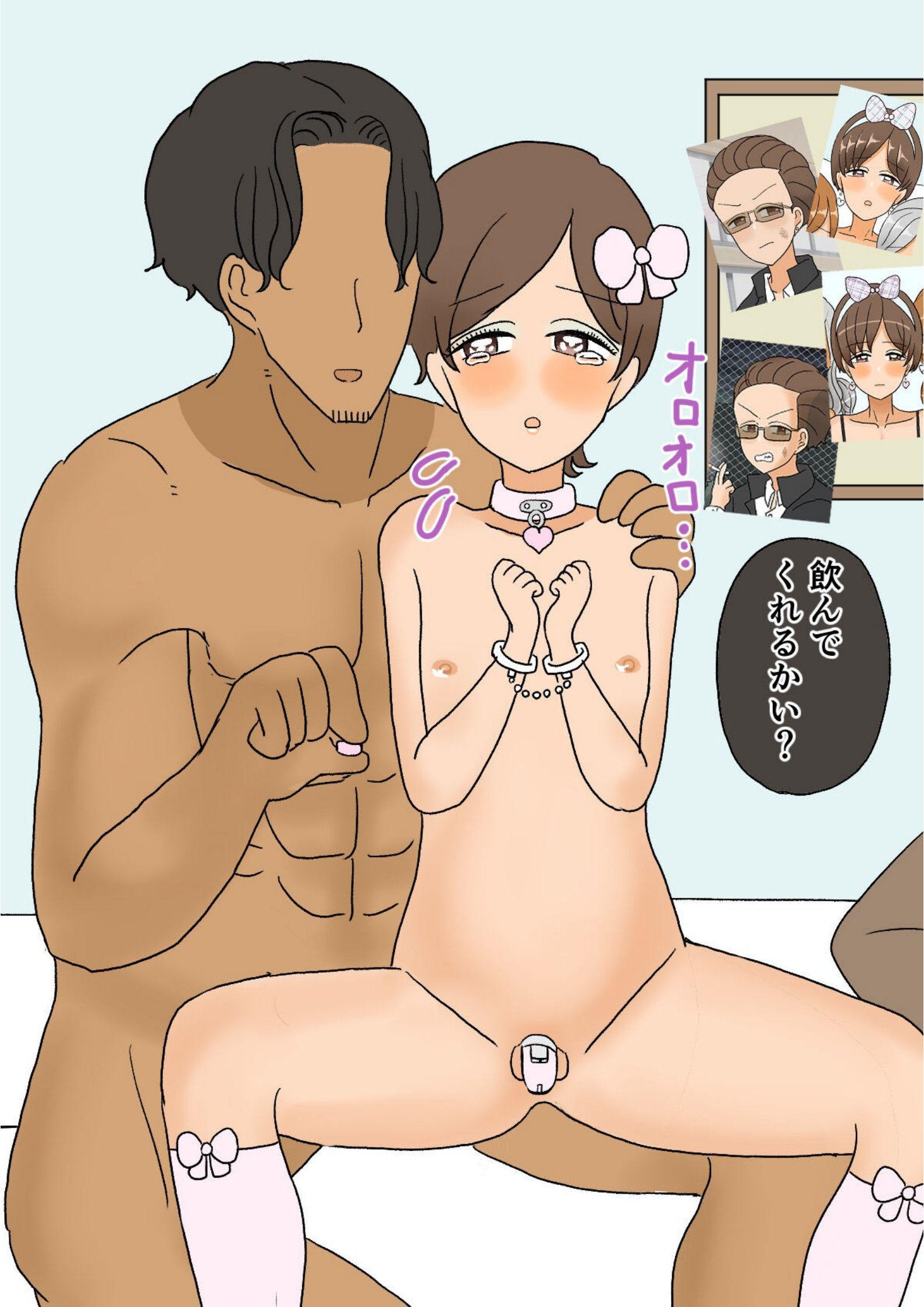

その日、おれは
慎太郎さんから
女の子の名前を
もらった。
一真の真を
「愛」に変えて
「一愛」。
「ひめ」と読むらしい。
お姫様みたいに
可愛くて
お淑やかな子に
なってほしい
からさ笑
そう言いながら
微笑む彼の顔を
おれはまともに
見ることが
できなかった。
この人はどうして…
おれなんかに
キスなんて
したんだろう…
一愛
ひめ

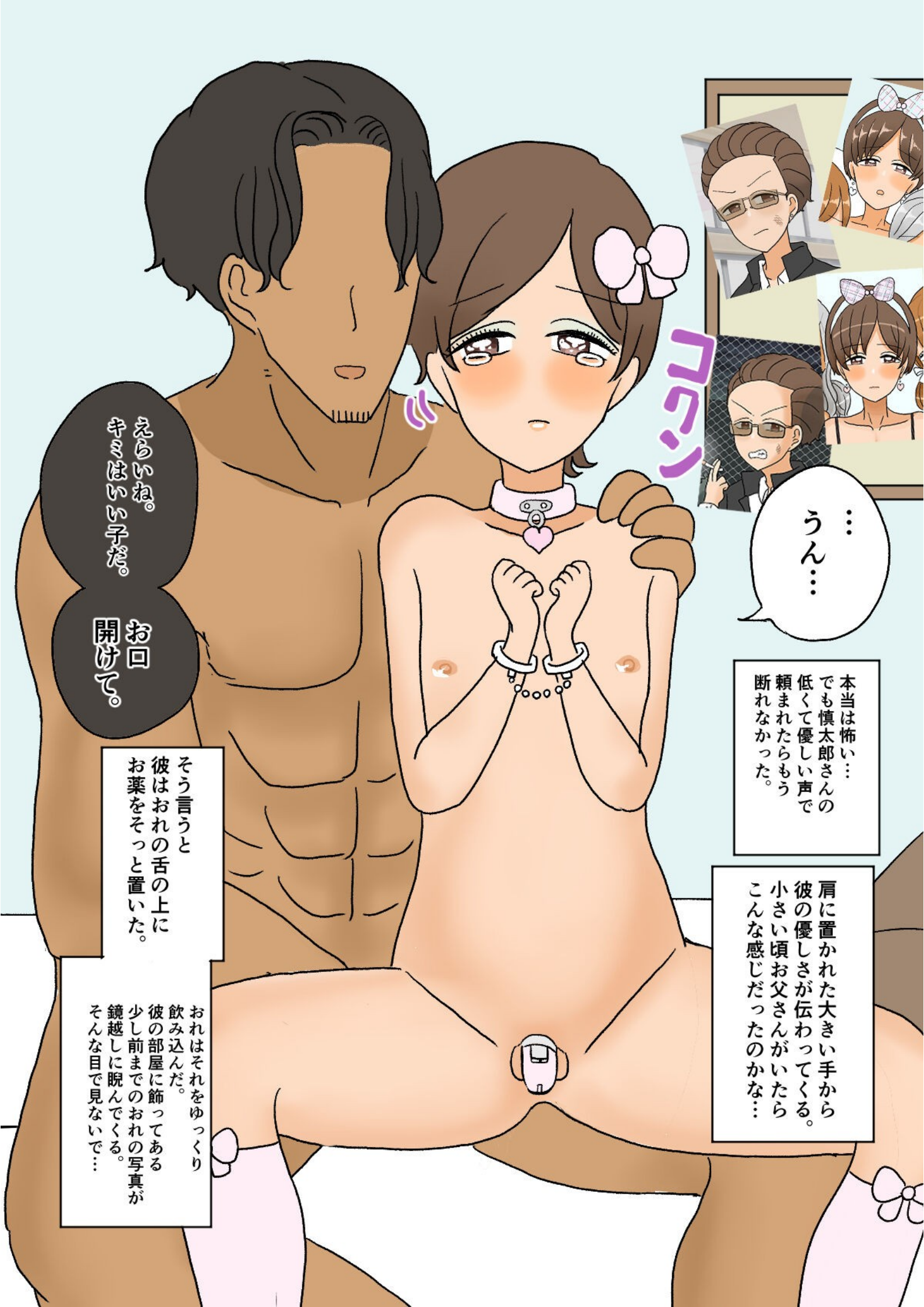

どうしたの？
は…はずかしい…
男同士だから
大丈夫だよ。
ヒメのおちんちん
俺に見せて？
モジモジ
次の日おれは
慎太郎さんの寝室に
呼び出されて
1ヶ月ぶりに貞操帯を
外された。
あ…あうう…
そういうと慎太郎さんは
おれの太ももに手を添えて
そっと脚を開いた。
あっ…

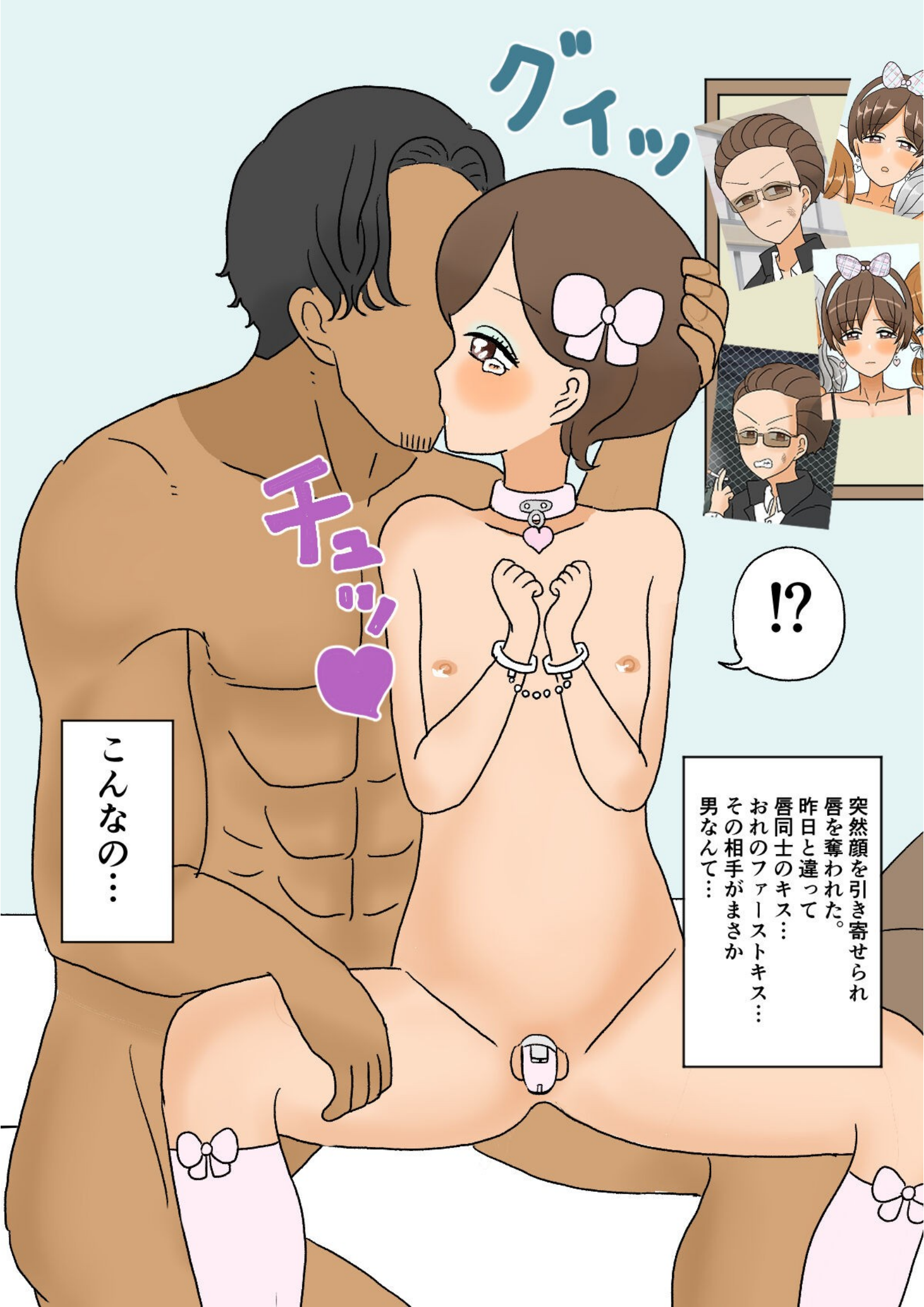
や…やだ…
みないで…
大丈夫。
新しいの
つけてあげる
からね
ふふっ、
素敵なおちんちん
じゃないか
いやあ…
カアア…
プルン♡
はじゃかしい…
妹カップルに
つけられた
貞操帯の代わりに
新しく可愛いのを
プレゼントしてくれる
んだって…

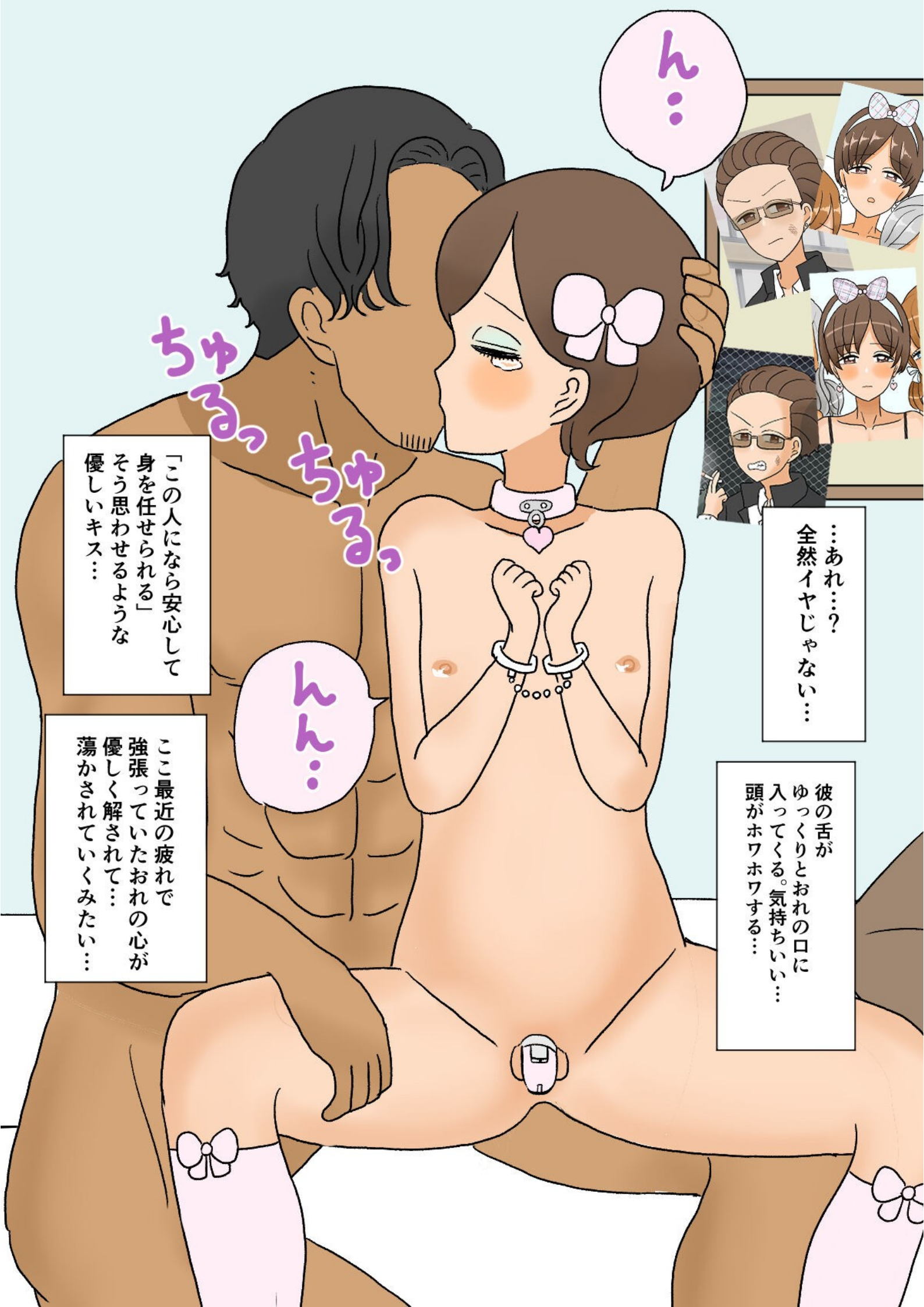

昨日から変だ…
この人の声を聞くと
安心する…でも
胸はドキドキして…
よく似合ってるよ。
ヒメには
女の子らしいピンクや
リボンがよく似合うね。
あうう…
ふふっ
可愛いなあ
そういうと
慎太郎さんは
近くに置いてあった
錠剤のようなものを
取り出した。


な…なに？
それ…
女の子になるためのお薬。
おっぱいやお尻を大きくしたり全身をふっくらさせて女の子らしく柔らかい体を作るんだ。
その分おちんちんが小さくなったり力も弱くなって重いものが持てなくなったり心が不安定になっちゃったり大変なことも多いんだ。
飲み始めたらキミはもう二度と乱暴な喧嘩なんてできないし「抱く側」じゃなくて「抱かれる側」の性としてこの先ずっと生きることになる。


オロオロ…
飲んでくれるかい？


コクン
…うん…
本当は怖い…でも慎太郎さんの低くて優しい声で頼まれたらもう断れなかった。
肩に置かれた大きい手から彼の優しさが伝わってくる。小さい頃お父さんがいたらこんな感じだったのかな…
えらいね。キミはいい子だ。
お口開けて。
そう言うと彼はおれの舌の上にお薬をそっと置いた。
おれはそれをゆっくり飲み込んだ。彼の部屋に飾ってある少し前までのおれの写真が鏡越しに睨んでくる。そんな目で見ないで…


グイッ
チュッ♥
!?
突然顔を引き寄せられ唇を奪われた。
昨日と違って唇同士のキス…
おれのファーストキス…
その相手がまさか男なんて…
こんなの…


ん…
ちゅるっ ちゅるっ
んん…
…あれ…？
全然イヤじゃない…
彼の舌が
ゆっくりとおれの口に
入ってくる。気持ちいい…
頭がホワホワする…
「この人になら安心して
身を任せられる」
そう思わせるような
優しいキス…
ここ最近の疲れで
強張っていたおれの心が
優しく解されて…
蕩かされていくみたい…

一ヶ月後
髪が無造作に伸びてきて鬱陶しくなってきた今日このごろ。
ん…♡
ドキドキ
おれは自分の部屋でナツミさんとアンナさんに教わった女の子オナニーの練習をしていた。
ドキドキ
乳首をくりくりしながらバイブを奥まで挿れて…
ううこわい…
くちゅ…

ナリ姉のワンポイントアドバイス♡
怖い時は深呼吸して、好きな人にオチンポ様を恵んでもらうところを想像しながら挿れると気持ちいいわよ
ん♡
……
好きな人…おれ…ちょっと前までケンカばっかりしてる不良だったのに…そんな急に言われてもわかんないよお…
ん♡
クリクリ♡
そんなふうに頭の中で強がって見ても、慎太郎さんにしてもらったあの日のキスの記憶がどうしても蘇ってきてしまう
ヌチュ…
ヌチュ…
だめ…好きなんかじゃないもん…
でも

あれ以来
してくれてない…
キス…
ん…♡
い…いや、べつに
してほしいわけじゃ
ないんだけど…
びくんっ
スリスリ
やだ…
おれったら
何考えてるんだろ…
オナニーしながら
あの人のこと考えるなんて
これじゃまるで…
本当にオカマじゃないか…
ジュポ…
ジュポ…

びくん
おっ♡
おおっ♡
びくん
おおん♡
おおん♡
数日後、
慎太郎の部屋にて
ジュプ♡
ジュプ♡
クチュ♡
クチュ♡

イク♡
イク♡
イクっっ♡
あぁっ♡
いやぁん♡
キュ♡
～♡
キュウ♡
キュウ♡

あうぅ…
もっとお…
高校時代は小柄な体格ながら凶暴なその性格から「西高の双竜」と恐れられていた二人。
二人とも最初は慎太郎に反抗的だったが彼のオスとしての逞しさに絆され、今は心から彼を敬愛し支えている。
しゅきぃ…
積極的な女性ホルモンの服用と日常的な愛のあるセックスによって胸板は柔らかいおっぱいに。男性機はフニャフニャのクリトリスに、尻穴は男のペニスを優しく包んで可愛くキュウキュウ締め付けるフカフカで極上のアナルに進化した。
キュウ♡
キュウ～♡

二人とも慎太郎になくてはならない大切な存在だ。
二人ともごめんな最近ヒメの調教に忙しくてあまり構ってやれなくて…
うふふっなに言ってるのよ
さみしくなんかないよ♡ヒメちゃん調教するの楽しーし
わたしたちお姉さんだもん♡
ありがとうな夏彦、杏助
もう！ちゃんと女の子の名前で呼んで！
あはは ごめんごめん

…二人ともヒメをどう思う？
んん～？あなたがなに考えてるか当ててあげましょうか
お嫁にもらいたいんでしょ？ヒメちゃんを
！
ヒメちゃんいい子だもんね～かわいいし♡
ははは…二人には隠し事はできないな…
というか気づいてないの？あの子あなたに恋してるわよ？
え？

ね～
この前なんて
そうそう、
「慎太郎さんのこと
色々教えて…」って
俯いて顔真っ赤にしながら
お願いしてきてねー
かわいかった
よね♡
あたしたちのこと
「お姉ちゃん♡」って
呼んでくれれば
教えてあげるよ～って
言ったら
すごい恥ずかしそうに
呼んでくれたの♡
ご主人様のいろんなこと
教えてあげちゃった♡
そ、
そうなのか
お、おお

君たちは
いつだって自然に
俺の背中を
押してくれる

ね、あなた♡
ヒメちゃんお迎え
しましょうよ♡

私たちもあの子
大好きだし♡

ありがとうな
二人とも。
今日は好きなだけ
イかせてやるからな

うんうん♡

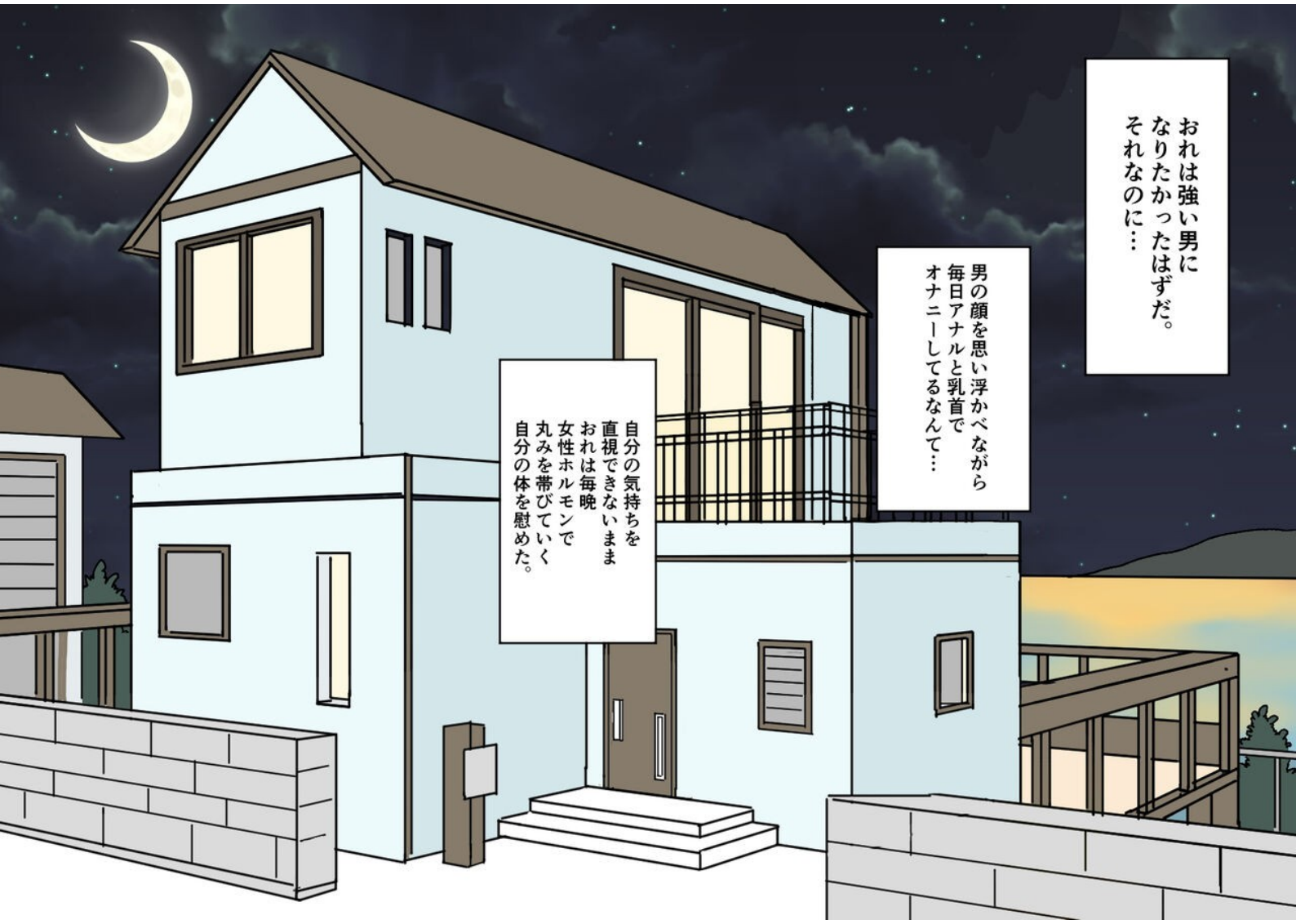
あんなに
かわいくて素直な子
逃がしちゃダメだよ♡

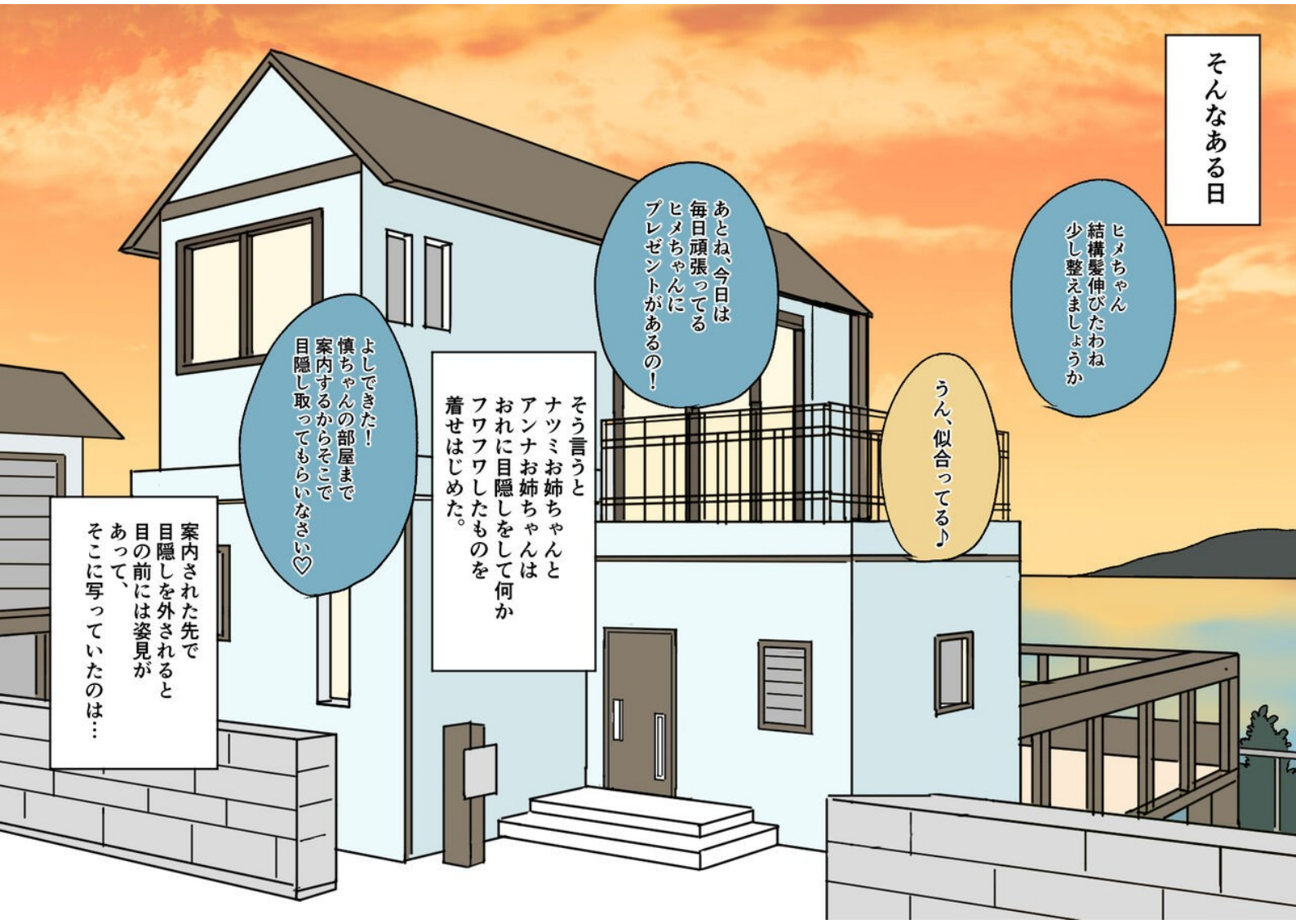
やったあ♡

キュ♡

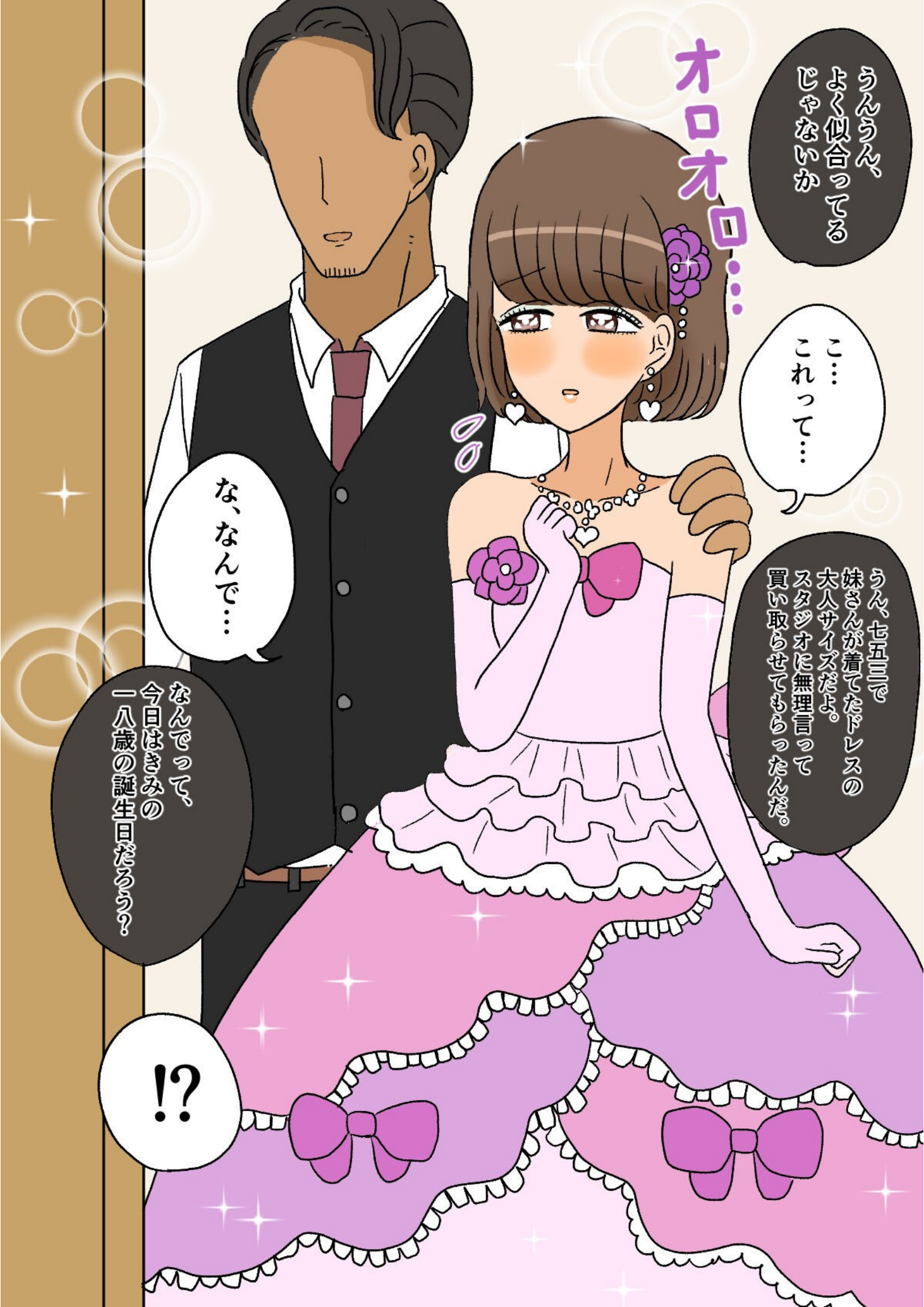
キュ♡

私たちも
いっぱいご奉仕
しますからね♡
旦那様♡


おれは強い男になりたかったはずだ。
それなのに…
男の顔を思い浮かべながら毎日アナルと乳首でオナニーしてるなんて…
自分の気持ちを直視できないままおれは毎晩女性ホルモンで丸みを帯びていく自分の体を慰めた。


そんなある日
ヒメちゃん
結構髪伸びたわね
少し整えましょうか
うん、似合ってる♪
あとね、今日は
毎日頑張ってる
ヒメちゃんに
プレゼントがあるの！
そう言うと
ナツミお姉ちゃんと
アンナお姉ちゃんは
おれに目隠しをして何か
フワフワしたものを
着せはじめた。
よしできた！
慎ちゃんの部屋まで
案内するからそこで
目隠し取ってもらいなさい♡
案内された先で
目隠しを外されると
目の前には姿見が
あって、
そこに写っていたのは…

え……


うんうん、よく似合ってるじゃないか
オロオロ…
こ…これって…
うん、七五三で妹さんが着てたドレスの大人サイズだよ。スタジオに無理言って買い取らせてもらったんだ。
な、なんで…
なんでって、今日はきみの一八歳の誕生日だろう？
!?

…すっかり
忘れてた…
おれ今日で
十八なんだ…
妹さんが
「あの時のお兄ちゃんの
羨ましそうな顔が
忘れられない」って。
袴じゃなくてドレス、
着たかったんだよね？
綺麗だよ
一真くん
おれ…
そんな顔
してたんだ…
お姫様みたいなドレス。
男子として生まれたおれが
メイクして
下着も女物をつけて
フリフリのドレスを
着て…
男らしさのかけらもない…

……
びくんっ♡
突然お尻がプラグをきゅうきゅう締め付けて前立腺が押されて体がびくんと跳ねた。
キュン
キュン
キュン
おれなんかの誕生日を調べてくれて、こんなにかわいいドレスを着させてくれて
なんでこんなに優しくするの…？好きにならないようにいっぱい我慢してたのに…
そんなおれを優しく見つめながら慎太郎さんは言った。
ヒメ、手貸して
？

え…？
彼はおれの左手の薬指に指輪をはめた。宝石のようなものがついた銀色の指輪…
これからの調教の予定を説明するね。
まず、乳首とお尻の開発はこのままの調子で続けていこう。オナニーも頑張ってねえらいね。
そして、年が明けたらずっと休んでた高校に女子高生として通うんだ。制服姿が今から楽しみだね。
それが全部終わってもし君さえよければ…

俺と結婚してくれ
……！
俺の3人目の、最後のお嫁さんはヒメがいい。初めてキミがきた時からそう思ってたんだ
俺のお嫁に来てくれ。
頭が追いつかなかった。
男子として生まれてこれまで生きてきたおれが妻として嫁ぐなんて…
それも自分をこんな風にした変態に…
そんなの…そんなの…

嫌じゃない…
全然嫌じゃない…
それどころか…
すごく嬉しい…
それがとても悲しかった。
小さい頃から抱いてた
「強い男になりたい」という夢が
もう絶対に叶わないんだって
この時理解してしまった。
おれ…もう完全に
メスの頭になっちゃったんだ…
そんなおれの気持ちを
見透かしたように
慎太郎さんは優しく
ささやいた。
おいで、
体に覚えさせてあげる。
ヒメは男の子じゃなくて
女の子なんだってこと。
強くなれない代わりに
これからは
強い男に所有される
女として生きて
いくんだ…
さよなら…
男の子のわたし…
今まで頑張ったよね…

不良になるまでのわたしは
よくいるサッカー少年だった。
小学校まではクラブ繋がりで
友達も多かったし
そこそこ上手かったから
試合にも出れてた。
でも中学からは
伸び悩んで
結局やめちゃった…
その後も色んなことに
手を出したけど
どれも続かなくて
友達も離れていって
中学を出る頃にはもう
完全にグレちゃって…
ああ、なんで今
こんなこと
思い出してるんだろ…
男の子としての
走馬灯ってやつ
なのかな…
きっとそうだ…
これからおれ…
ううん、わたし…
男の人と二人っきりで
夜を過ごすんだもの…
DAIICHI
13
10

女の子として…
トクン…
あ…♡
綺麗だよ。ヒメ

トクン
トクン
トクン…
キュッ♡
ドレスを丁寧に脱がされて裸んぼにされたお…わたしは
お姫様抱っこされたかと思ったらベッドに優しくおろされた…
男の子してた時の写真と今のわたしを見比べてカレが優しく微笑む
今までお尻におちんちんを入れられたことはあるけどそれは三人がかりの「調教」で…
これからするのは二人っきりの…エッチ…だよね…？そう思ったら恥ずかしさで胸がドキドキしちゃう…

ヒメ、
自分でおしり
広げておねだりして
は、はい…
こんなに
恥ずかしいこと
絶対にイヤなはずなのに…
この人に優しい声で囁かれたら
胸がドキドキして逆らえないの…
ドキ
ドキ
ドキ
ドキ
くぱぁ♡
ピトッ♡
この人にわたしの…
ぜんぶをあげたい…
なんでもしてあげたいの…

ヒ…ヒメの
おしりおまんこに…
あなたの…
素敵な…かっこいい…
お…おちんぽ…
…いれて…
いやぁぁ
ヒメは…
わたしは…
女の子だもん
ふふふっ、
そうだったね
こんなにおちんちんが
小さくてふわふわな子が
男のはずないもんね。
挿れるよ？
ヒメ
ふふっ
男のくせに
そんなこと言って
恥ずかしくないの？
きてえ♡
おちんぽ
ヒメのおしりに
いれてえ
キュン♡
ドキドキ
キュン♡
ドキドキ
チュッ♡
チュッ♡
全部本心から出た
言葉だった。
女の子として生きていくって
決めたんだもん…
わたし、この人のメスに…
お嫁さんになりたい。
征服されたい。所有されたい。
この人の、子供を産みたい。

おおおおおおおおおん♡
あれ？もしかして挿れられただけでイっちゃった？
ゾクゾク
恥ずかしくて恥ずかしくて、弁明しようと口を動かすけど頭がフワフワして言葉を紡げない
きゅんきゅん
きゅんきゅん
その通りだった。嬉しすぎて、幸せすぎて、カレのオチンポさまが前立腺を通り過ぎた瞬間わたしはメスイキしてしまった。
こんなに淫乱になっちゃうなんてヒメはいい子だね。ゆっくり動くから可愛い声いっぱい聞かせてね。
プルン♡
い、入れられただけでこんなになっちゃうのに今動かれちゃったら…
キュ
ジュププ
ププププ
ウウ♡

おっ♡おっ♡♡♡
おおっ♡おおおっ♡
キュン
キュン
ユッサ
ユッサ
キュン♡
キュン♡
トロトロになった
わたしのおしりの中を
慎太郎さんのたくましい
おちんぽが優しく、
そして激しく愛撫する
男の人が
低い息を荒げて
腰を振るのを
猫撫で声をあげて
ただ受け入れるしかない
女の子って
弱い…
でも…
しあわせ…
前立腺は
ゴリュゴリュつぶされ
おなかの一番奥は
トントンとノックされる。
その度に女の子のわたしは
声をあげることしかできない
出すよヒメ。
一緒に
イかせてあげる。
プルン
プルン
パン
パン
ジュプン
ジュプン

ビクン♡
たくさんの赤ちゃんの素…
おなかの中…あったかくて…
あなたの赤ちゃん…
うみたいよお…
慎太郎さんの
大きくて素敵なオチンポ様が
わたしのトロトロのお尻の中に
たくさんのミルクを
注いでくれる。
しゅきい…
らいしゅきい…
かっこいいよお…
ギュッてして
ほしいよお…
それと同時にわたしは
ちょっぴりのお汁を
お漏らししながら
全身で女の子みたいに
イってしまう。
ビュルルルルルルルルルル

あうう…
ポロ
やあぁ…もっとぉ…
ポロ
いや…
抜かないで…
ずっとわたしの
中にいて…
モジモジ
わたしは涙が
止まらなくなって
しまった
カレのオチンポ様が
お尻から引き抜かれた瞬間、
自分の中の大切な一部が
出て行っちゃったような、
自分が自分でなくなっちゃうような、
そんな不安に襲われて
もっと
ほしいよぉ…
かわい…
トプ
トプ

その日はシャワーの後も
明け方まで夜通し
お尻を愛してくれた。
好き…好き…
かっこいいよお…
キミの名前は？
わ…わたしは
ヒメ…
あ♡ん…♡
男？女？
おんなのこ…
ヒメは
おんなのこなの…
あ…♡
ヒメは
誰のものなの？
あ…あなたの…
ヒメは
あなたのもの…
ん？
エッチの時は
なんて呼ぶんだっけ？
おっ♡
おおっ♡
おっ♡
ドキ
ドキ
おおっ♡
キュン
パンッ…
パンッ…

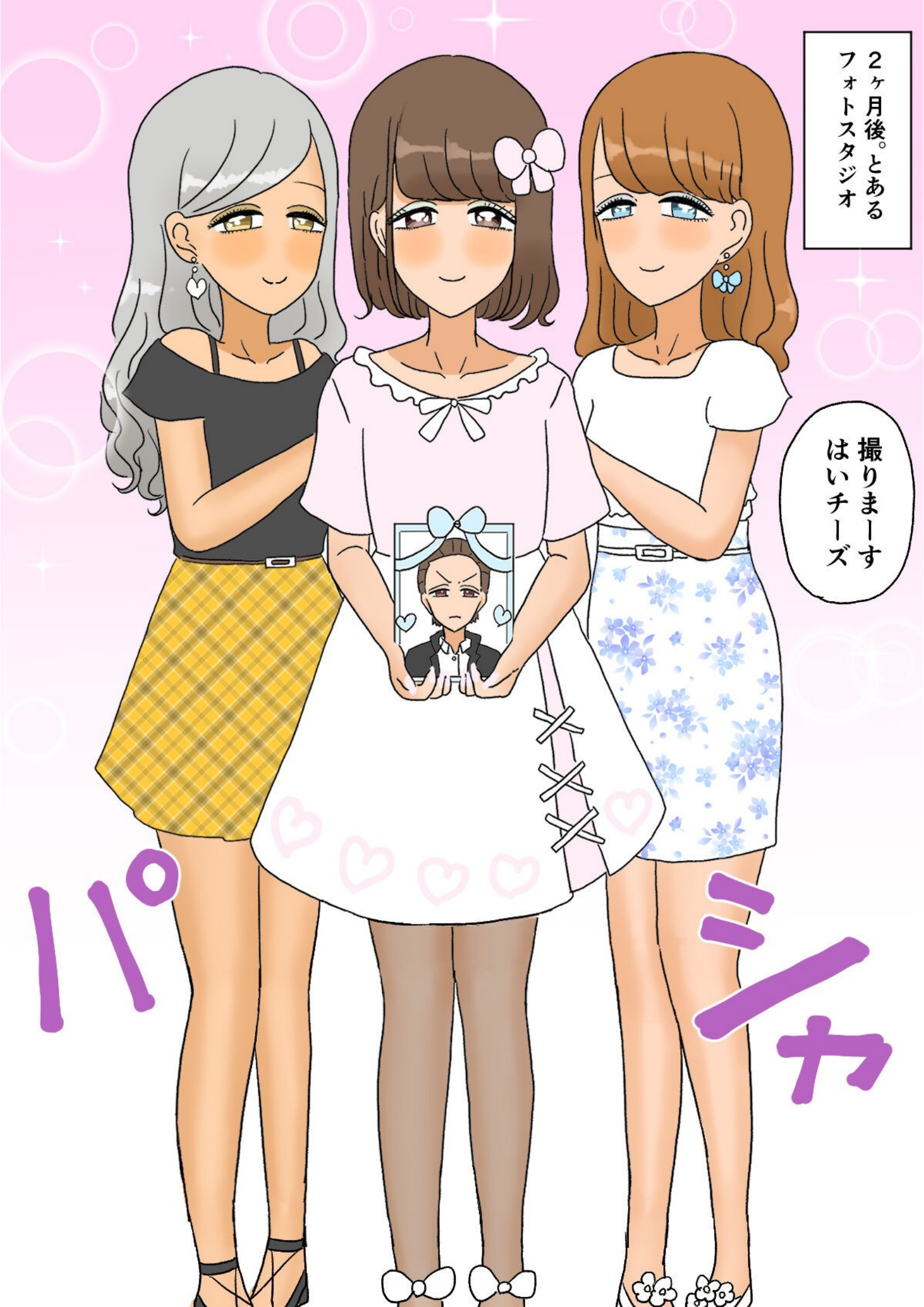
ごしゅじんさま…
ヒメはね…
ごしゅじんさまの
ものなの…
ドキ
ドキ
キュン
キュン
キュ〜♡
しゅき…
ごしゅじんしゃま
しゅきぃ…♡
よく言えたね
ヒメはいい子だ。

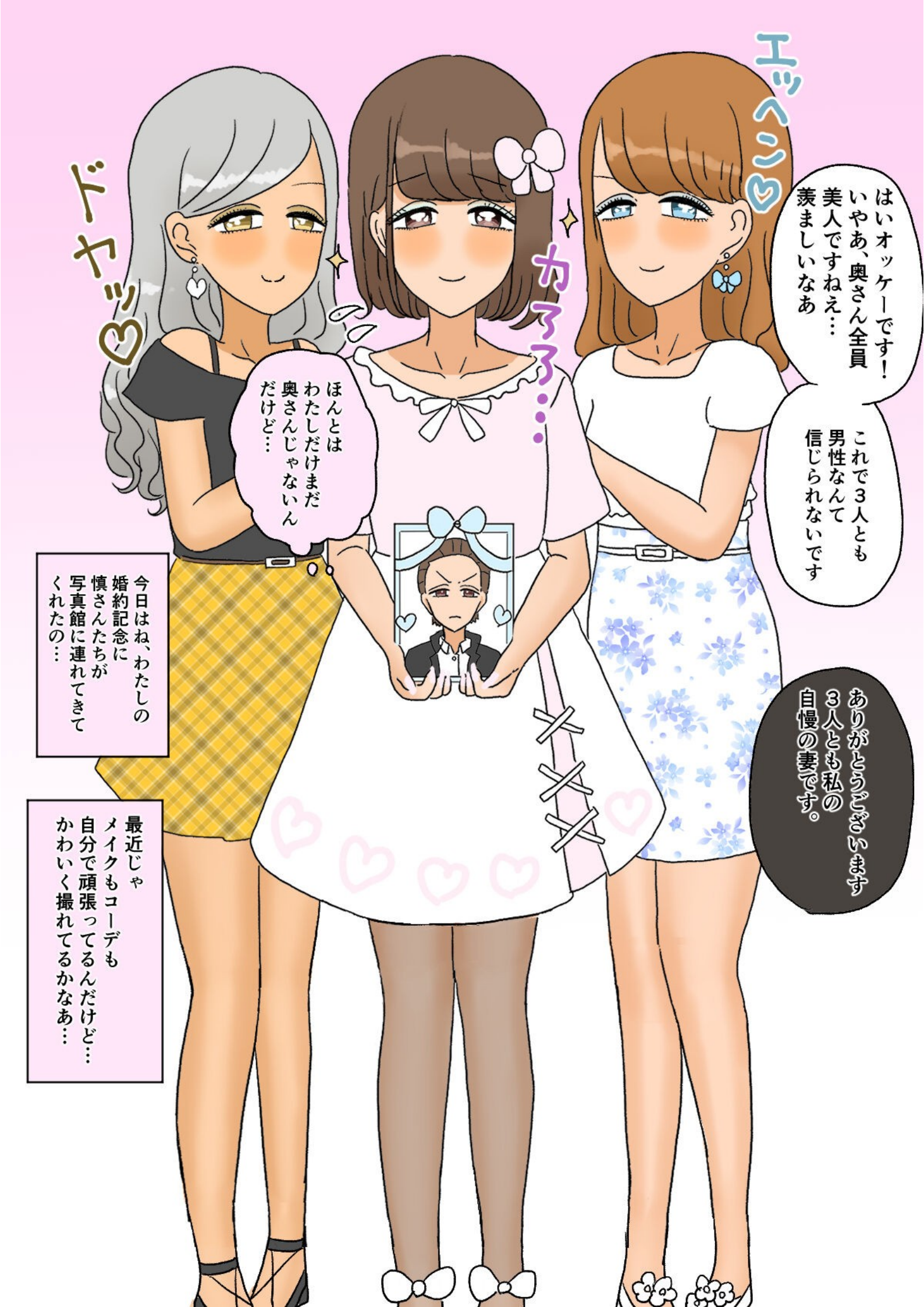
ご褒美
ん♡
優しいキス…
カレの舌がわたしの
お口の中をヨシヨシ
してくれるの…
チュッ♡
んん♡
わたしも
必死に舌を絡めて
一生懸命「大好き」
って伝えるの…
好きな人とのキスって
こんなに気持ちいいんだ…
頭がふわふわして…
ずっとこうしてたい…
キュウ
キュウ

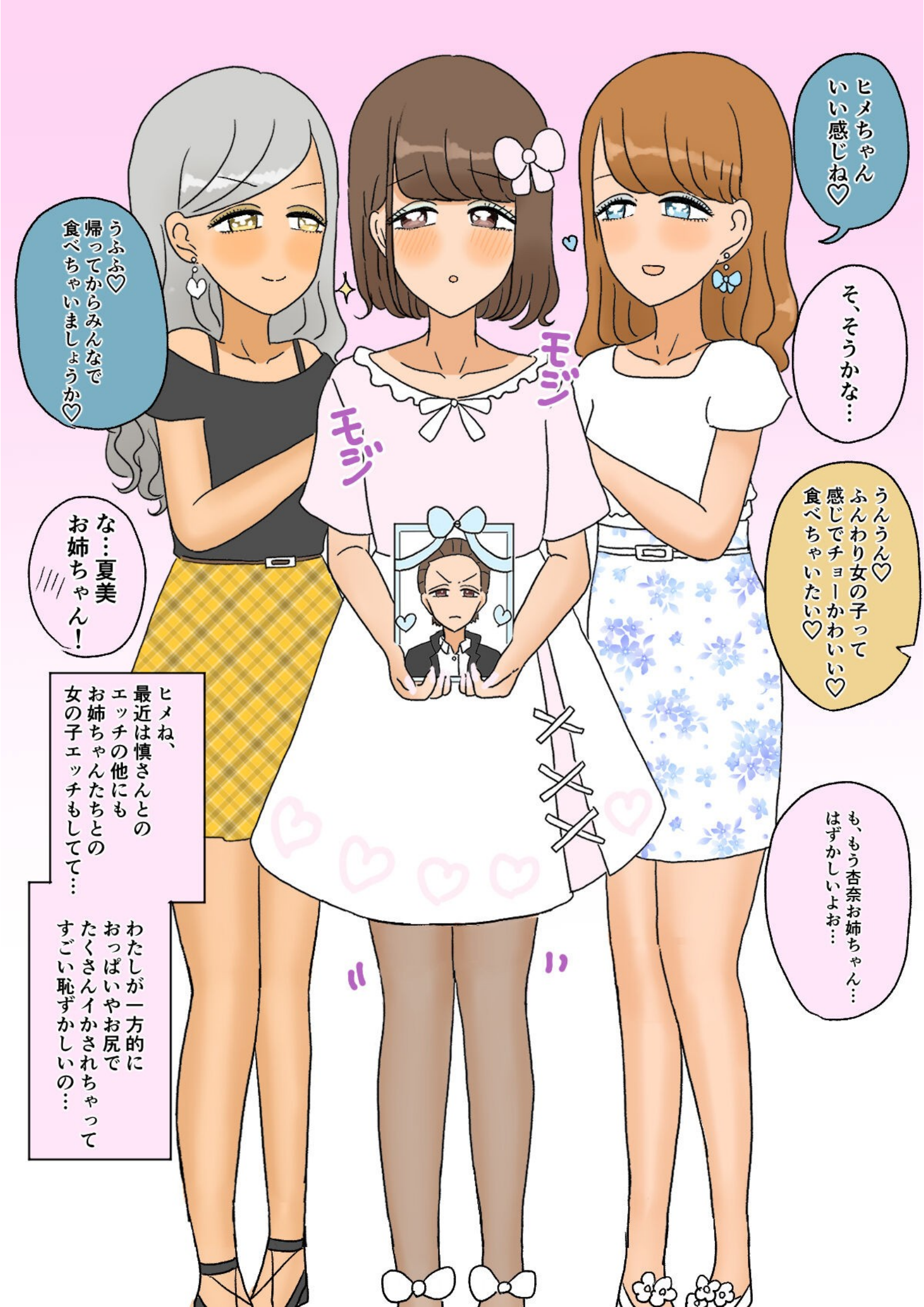
ぷはっ
はあ…
はあ…
もしかしてヒメ
この前のが
ファーストキス？
うん…ヒメね…
こうなる前も
彼女とかできたこと
なかったし…
ん♡
エ…エッチも…
ごしゅじんさまとが
はじめてで…
あ…♡
ドキ
ドキ
ドキ
そっか…
は…
はじゅかしいよお…
きっとヒメに彼女が
できなかったのも
童貞だったのもさ、

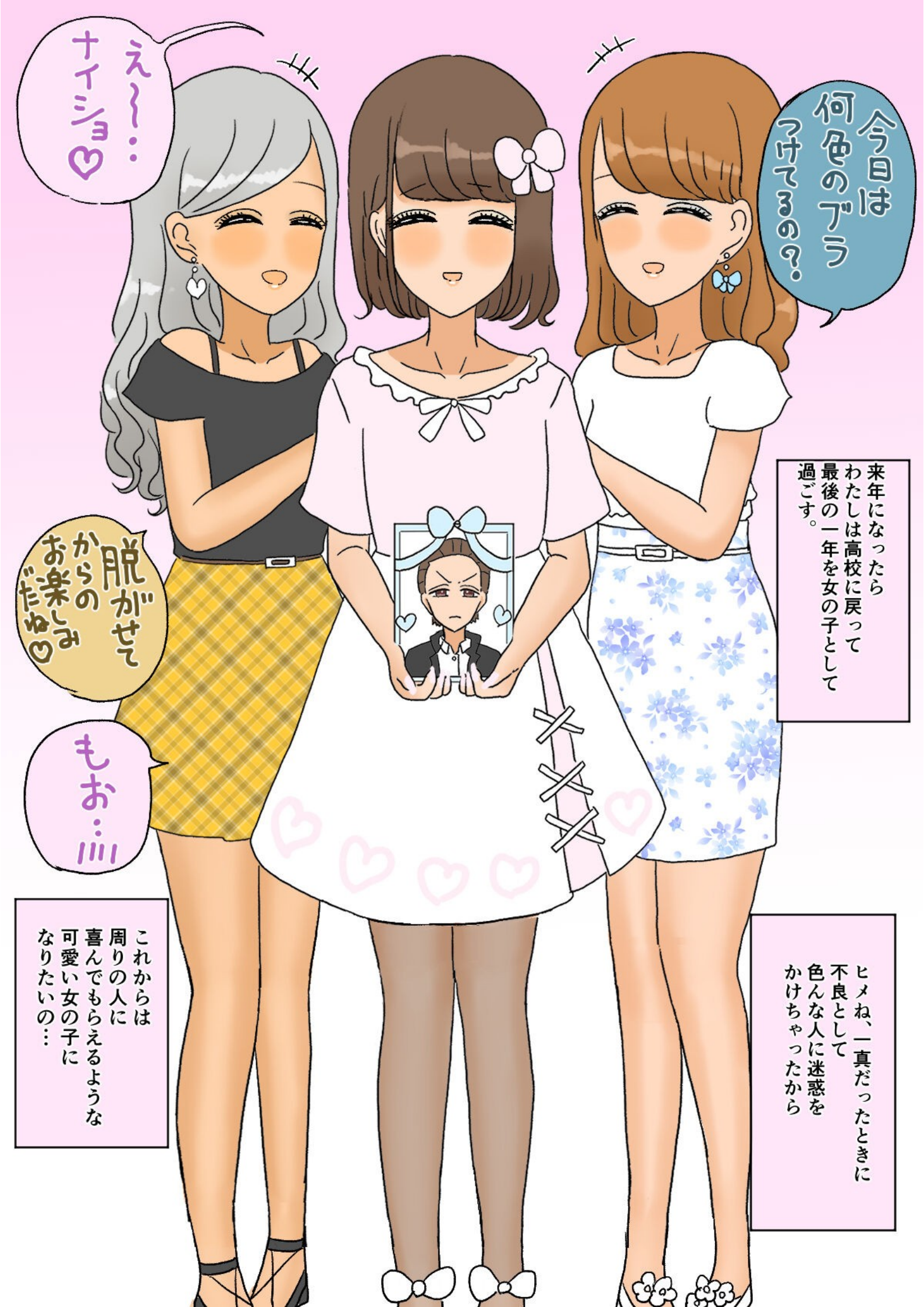
全部、メスになって
俺に初めてをくれる
ためだったんだよ
ヒメの初めてに
なれてよかった
びくん♡
!?
じっと見つめられながら
そんなこと言われたら
わたし…
お…♡
おおおん♡
キュン
ナカ締まったね。
かわいいよ。
ヒメ。
おおおお♡
おおおおん♡
キュン
キュン
キュン♡
びくん♡
キュ～～♡
そうだ、男の子としての
あのつまらなかった日々も、
劣等感を誤魔化すために
突っ張ってたあの日々も、
全部この人に出会って
お嫁さんになるための
準備期間だったんだ。
カレにかけてもらった
言葉一つで
今までの人生が全部
報われた気がした。
目の前のカレに
この先のわたしの
女の子としての人生
全部を捧げようと思えた。

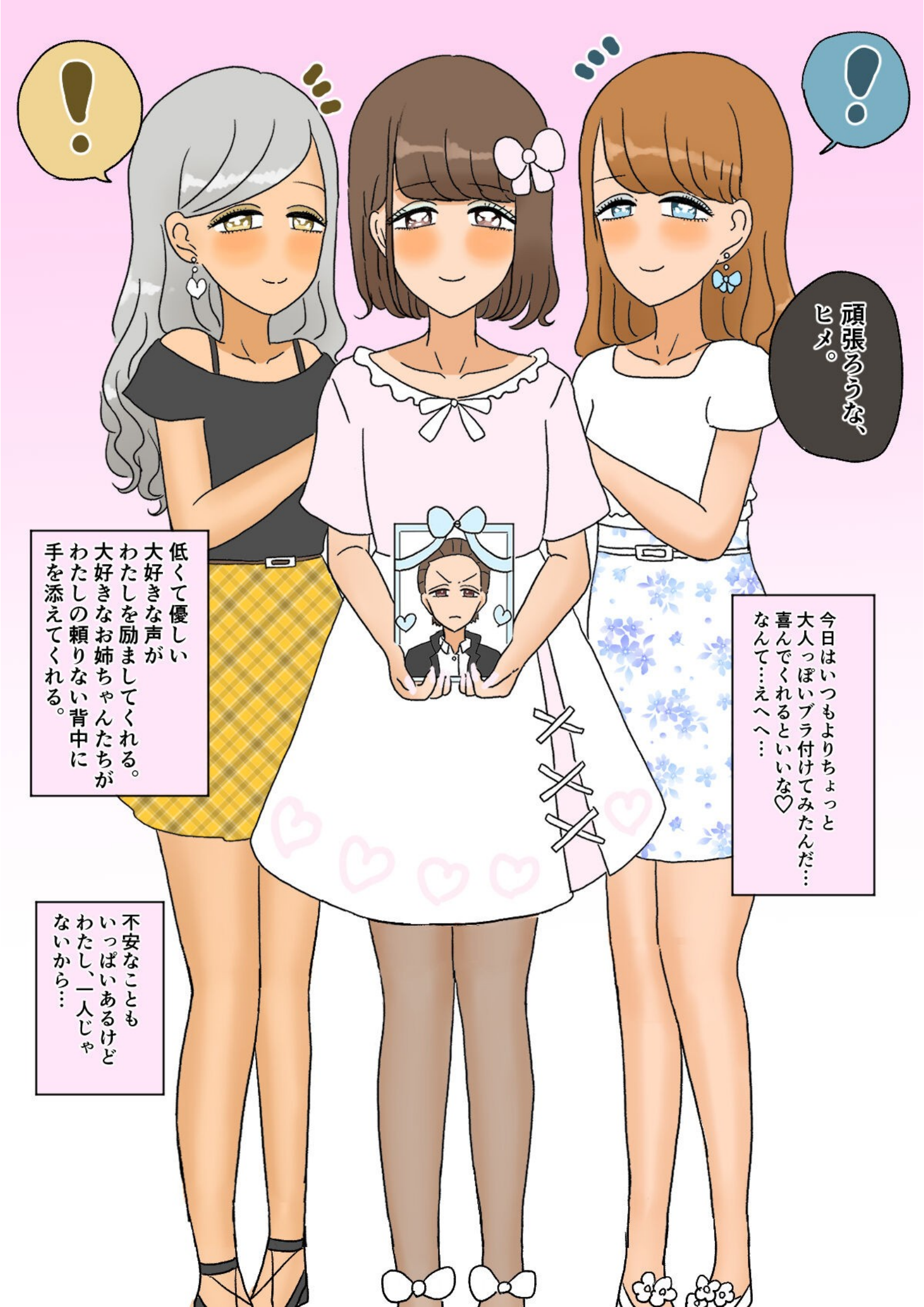
カレがオチンポ様で
奥をぐりぐりしながら
お口を愛してくれる。
すてき…♡
この人に
いっぱい甘えていたい…
この人がずっと可愛がって
いたくなるような
かわいい子になりたい…♡
おしりもお口も
頭の中さえも
トロトロに溶かされながら
わたしはそう思いました♡
ん♡
チュッ
チュルッ
んん♡
ん♡
ぎゅっ
キュウグリ
キュウ♡グリ

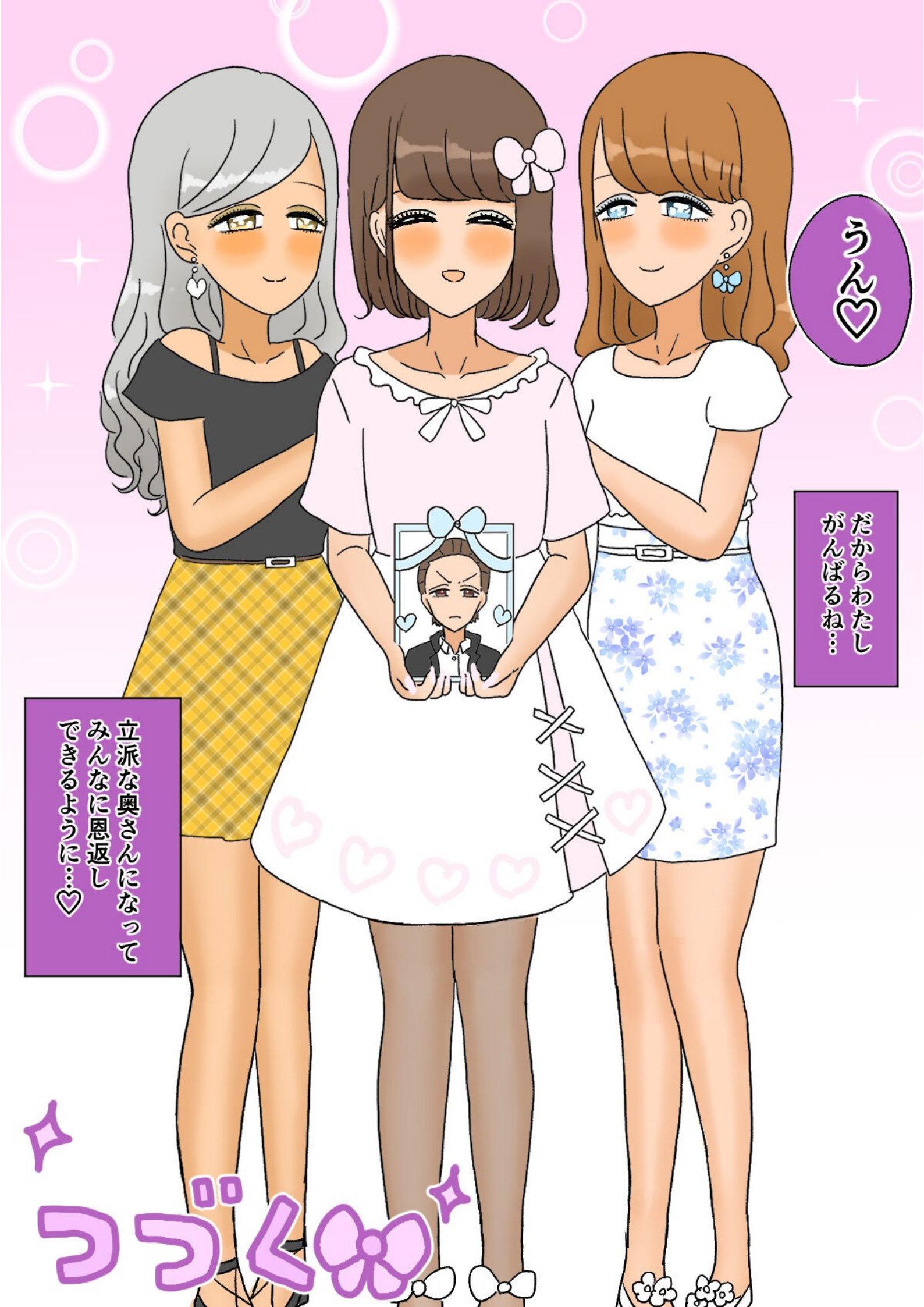

2ヶ月後。とある
フォトスタジオ
撮りまーす
はいチーズ
パシャ


エッヘン♡
はいオッケーです！
いやあ、奥さん全員
美人ですねえ…
羨ましいなあ
これで3人とも
男性なんて
信じられないです
カァ〜ろ…
ドヤッ♡
ほんとは
わたしだけまだ
奥さんじゃないん
だけど…
ありがとうございます
3人とも私の
自慢の妻です。
今日はね、わたしの
婚約記念に
慎さんたちが
写真館に連れてきて
くれたの…
最近じゃ
メイクもコーデも
自分で頑張ってるんだけど…
かわいく撮れてるかなあ…


ヒメちゃん
いい感じね♡
そ、そうかな…
うんうん♡
ふんわり女の子って
感じでチョーかわいい♡
食べちゃいたい♡
も、もう杏奈お姉ちゃん…
はずかしいよお…
うふふ♡
帰ってからみんなで
食べちゃいましょうか♡
な…夏美
お姉ちゃん！
モジ
モジ
ヒメね、
最近は慎さんとの
エッチの他にも
お姉ちゃんたちとの
女の子エッチもしてて…
わたしが一方的に
おっぱいやお尻で
たくさんイかされちゃって
すごい恥ずかしいの…


今日は何色のブラつけてるの？
え～！ナイショ♡
脱がせてからのお楽しみだね♡
もお…!!!!
来年になったらわたしは高校に戻って最後の一年を女の子として過ごす。
ヒメね、一真だったときに不良として色んな人に迷惑をかけちゃったから
これからは周りの人に喜んでもらえるような可愛い女の子になりたいの…


！
！
頑張ろうな、ヒメ。
今日はいつもよりちょっと大人っぽいブラ付けてみたんだ…喜んでくれるといいいな♡なんて…えへへ…
低くて優しい大好きな声がわたしを励ましてくれる。大好きなお姉ちゃんたちがわたしの頼りない背中に手を添えてくれる。
不安なこともいっぱいあるけどわたし、一人じゃないから…


うん♡
だからわたし
がんばるね…
立派な奥さんになって
みんなに恩返し
できるように…♡
つづく

不良少年がメス堕ちして かわいいお嫁さんに なるまで♡ ～婚約編～

ウィスキーこんこん

次回予告✩

進むメス化、
深まる愛。

少女から
女性へ、
そして…

次回も
お楽しみに✩

ご購入いただき、読んでいただき、
誠にありがとうございます！
メス堕ちから結末まで一本にまとめる予定だったのですが、
枚数が嵩んでしまい前編後編に分ける事になってしまいました…
次回で完結です！
戸惑いながらも一生懸命なヒメちゃんの行く末を
どうぞ温かく見守ってあげてください！